

第2部

これまでの歩み

(1回から29回まで)



松岡 讓編『漱石写真帖』（昭和4年、第一書房）の第五高等学校卒業生記念。写真中列右から2人目が夏目漱石。漱石の熊本時代は、明治29（1896）年4月から、明治33（1900）年7月まで4年3か月に及んだ。

熊本からの俳句発信

第30回「草枕」国際俳句大会実行委員会 会長 岩岡 中正



平成八年に夏目漱石来熊百年を記念して始まった「草枕」全国俳句大会は、「草枕」国際俳句大会と名称を変えつつ、本年度めでたく第三〇回を迎えることができました。これもひとえに、参加された全国・世界の皆さんや行政の支援、実行委員会とこれを支えてきたスタッフの皆様の御尽力によるものと、あらためて感謝します。

本大会は、熊本時代に五高教師であり俳人であった漱石の小説「草枕」をキーワードに、熊本出身の名誉市民で俳人の中村汀女の顕彰も含めて、俳句を通して熊本から全国や世界への発信をしてきました。これは熊本の地域（ローカル）おこしと、ここから世界（グローバル）へのいわば「グローバル」な文化発信をめざして始められましたが、今日では、「熊本の漱石」「熊本の俳句」が全国、海外に認知されてきております。心から感謝します。また、かつて叫ばれた「地域の時代」や「国際化の時代」が、ともすればやや勢いが無い今日、この「草枕」国際俳句大会が全国有数の規模の国際大会となったことは、何よりのことでもあります。さらには当初より「ジュニア部門」を設け若者たちの俳句創作を支援してきたことも、次世代への文化の継承に貢献してきたと思います。

熊本市の文化政策事業としてはじまった本大会も今日、実行委員会方式での開催へと変わり、さまざまな課題も抱えています。どうか今後ともよろしく御支援下さるようお願い致します。



ご挨拶

「草枕」全国俳句大会委員会 委員長 首藤 基澄



夏目漱石来熊100年を記念して創設されました『「草枕」全国俳句大会』にご参加くださりましてありがとうございました。

漱石は近代の日本について深く考察し、「外からおつかぶさつた他の力で已むを得ず」開化した外発的な開化（近代化）で、「内から自然に出て発展すると云ふ意味で丁度花が開くやうにおのづから蕾が破れて花卉が外に向ふ」

大変遅くなりましたが、入賞作品集をお届けいたします。日本の近代を誰よりも深耕した漱石につらなる試みの1つとしてご鑑賞いただければ幸いです。

お力添えくださいました選者の先生方を始め、関係者の皆様方に厚くお礼申しあげ、今後ともご参加、ご支援くださいますようお願いいたします。

俳句とイメージ入賞作品集 (平成8年)

事前投句・一般部門

漱石大賞

来し方は語らず今の涼しさに

熊本県山鹿市 小南やちよ

優秀賞

首すじの吹かれてゐたる羽抜鶏

福岡県宗像市 占部 詩子

驛長の夏爐を焚いて切符賣る

福岡県田川市 蔵本はるの女

日本航空賞

神楽面とり牧守の顔となる

福岡県高田町 川上 訓子

◆伊藤 柏翠 選
神楽面とり牧守の顔となる
福岡県高田町 川上 訓子
草枕成りし文机春埃
熊本県熊本市 金沢 富水

◆上田五千石 選
さういへば父も裸が好きなりし
熊本県熊本市 村上 惟輝
言ふよりは先に動きて涼しかり
熊本県熊本市 鮎川 英子

◆金子 兜太 選
兵たりし老の草笛ふと止みぬ
熊本県宇土市 井上 松雄
六月や群れねば伏目がち少年
熊本県熊本市 野田 信章

◆川崎 展宏 選
ハンカチを抛げて火口を離れけり
福岡県北九州市 大森 楠男
螢見にやわらかな靴はいて出る
熊本県熊本市 竹原とさ江

◆倉田 絃文 選
みな知らぬふりして通る蝮草
熊本県熊本市 上須崎ゆたか
螢見て戻りし部屋は点さずに
熊本県熊本市 永野由美子

◆首藤 基澄 選
しあはせという手話おぼえ合歡の花
福岡県北九州市 中村 重義
それからふたりは黙しソノダ水
兵庫県神戸市 玉木 瑠伸

◆鷹羽 狩行 選
骨肉の争ひのあり菊人形
青森県八戸市 下斗米精一
茄子の馬ふんばる力なくなりし
福岡県直方市 佐藤 崎峰

◆藤崎 久を 選
もう誰も来ぬ燈籠と更けにけり
熊本県熊本市 上須崎かつみ
何するも雨音とある梅雨ごもり
熊本県熊本市 東 千秋

◆窪田 丈耳 選
海のどか赤き鑄浮くロシア船
北海道小樽市 村上 千代
上向いてゆつくり歩こう樟若葉
熊本県菊陽町 酒井喜久江

◆首藤 基澄 選
しあはせという手話おぼえ合歡の花
福岡県北九州市 中村 重義
それからふたりは黙しソノダ水
兵庫県神戸市 玉木 瑠伸

◆鷹羽 狩行 選
骨肉の争ひのあり菊人形
青森県八戸市 下斗米精一
茄子の馬ふんばる力なくなりし
福岡県直方市 佐藤 崎峰

◆藤崎 久を 選
もう誰も来ぬ燈籠と更けにけり
熊本県熊本市 上須崎かつみ
何するも雨音とある梅雨ごもり
熊本県熊本市 東 千秋

◆漱石大賞
ひんやりと運動場の土も秋
熊本県 城南小6 小林 翔
風鈴や風の小声を音にしろ
熊本県 松橋中3 稲田 沙織

◆優秀賞
くりのみはいがいがばかりいじっぱり
熊本県 大野小4 柴尾 綾
犬の尾のたれ下がりに来る大暑かな
熊本県 熊本市立高2 西山 順子

◆日本航空賞
黒板に文字を残して夏休み
北海道 余市町立西中2 富本 哲也

事前投句・ジュニア部門

漱石大賞

ひんやりと運動場の土も秋

熊本県 城南小6 小林 翔

風鈴や風の小声を音にしろ

熊本県 松橋中3 稲田 沙織

昼顔や目もとやさしき漁夫の妻

沖縄県 北谷高3 末吉 太

優秀賞

くりのみはいがいがばかりいじっぱり

熊本県 大野小4 柴尾 綾

犬の尾のたれ下がりに来る大暑かな

熊本県 熊本市立高2 西山 順子

日本航空賞

黒板に文字を残して夏休み

北海道 余市町立西中2 富本 哲也

外国人部門

●● 漱石大賞 Souseki Taishou (Grand Prize)

corn rows

stretch to the horizon - -
sun on the thunderhead

Lee Gurga (USA)

(訳)

コーン畠の列
地平線まで延びている…
入道雲の上には太陽
リー・ガーガ (米)

●● 大会当日投句
猪垣と云はれて気づくほどのもの

熊本県熊本市 吉住 淳子

●● 漱石大賞
露の碑のひとつ峠の茶屋の跡

熊本県八代市 西本 正子

吟行投句

●● 特選 Tokusen (Second Prize)

In darkness
The dark river
Moving.

Jack Cain (Canada)

(訳) 暗闇の中
暗い河が
動いている
ジャック・ケイン (加)

the coolness
a rock caught on a ledge
in the waterfall

Cor van den Heuvel (USA)

(訳) 涼しさ
滝の岩棚に大きな岩が
ひっかかっている
コー・バン・デン・ヒューベルノ (米)

reflecting
the swallow's swift flight,
each roof tile

Geraldine C.Little (USA)

(訳) 素早いつばめが飛ぶ
屋根の瓦のそれぞれに
影を映しながら
ジェラルデデモン (米)

Winter morning stillness
chopping wood
between the echoes

Byron T.Jackson (England)

(訳) 冬の朝の静けさ
樹を切る音が
こだまの中で
バイロン・T・ジャクソン (英)

nearly dusk
the shadow of her tombstone
reaches his

Charles P.Trumbull (USA)

(訳) たそがれ近く
彼女の墓石の影が
彼の墓石にのびている
チャールズ・P・トラムビル (米)

俳画部門

●● 漱石大賞

「若葉して手のひら程の山の寺」
(夏目漱石句)

熊本県熊本市 笠井 陽子



写真部門

●● 漱石大賞



「盛夏の魚すくい」(江津湖)

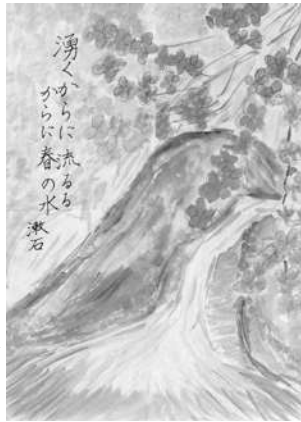
熊本県熊本市 田中 龍治

子どもの俳句と絵部門

●● 漱石大賞

「湧くからに流るるからに春の水」
(夏目漱石句)

静岡県 吉田中3 三木由香子



「かげ連れて雲の流れる夏の山」

熊本県 画図小5 村田 圭

「草枕」全国俳句大会参加者数調べ

行事名	参加者(応募者)	作品数
事前投句	一般部門 1,599人	投句数 5,571句
〃	ジュニア部門 4,017人	〃 8,034句
〃	外国人部門 339人	〃 605句
イメージ作品	310人	出品数 798点
〃	写真部門 219人	〃 219点
〃	子どもの俳句と絵部門 225人	〃 362点
世界子どもハイクキャンプ	150人	
漱石の玉手箱	4,000人	
前夜祭	500人	
吟行	200人	投句数 297句
レセプション	200人	
江津湖ファミリーハイカーニバル	1,000人	
大会当日投句	1,200人	投句数 1,294句
合計	13,959人	(総数 17,380)

事前投句作品(一般部門)の投句状況

都道府県	投句数(句)	投句者(名)	都道府県	投句数(句)	投句者(名)	都道府県	投句数(句)	投句者(名)
北海道	50	14	山梨県	2	1	香川県	58	19
青森県	12	4	長野県	20	7	愛媛県	60	15
岩手県	6	3	岐阜県	30	11	高知県	18	6
宮城県	24	6	静岡県	54	11	福岡県	804	222
秋田県	28	10	愛知県	76	23	佐賀県	116	31
山形県	18	6	三重県	20	7	長崎県	70	19
福島県	14	4	滋賀県	12	5	熊本県	2,859	760
茨城県	26	10	京都府	20	6	大分県	186	43
栃木県	52	17	大阪府	80	20	宮崎県	140	46
群馬県	14	5	兵庫県	126	43	鹿児島県	98	20
埼玉県	56	13	奈良県	22	7	沖縄県	24	8
千葉県	50	17	和歌山県	8	3	那覇市	4	1
東京都	178	55	鳥取県	16	3			
神奈川県	148	36	島根県	16	6	合計	5,771	1,599
新潟県	10	3	岡山県	14	4			
富山県	6	2	広島県	30	12			
石川県	16	6	山口県	58	21			
福井県	16	6	徳島県	6	2			

審査講評	写真審査	俳画審査	子どもの俳句と絵審査
大山謙一郎	栄田賀之	戸田東	葉祥明
坂口芳枝	首藤基澄	西村千	今村潤子
佐藤艸魚	佐藤艸魚	宮中	大倉敬一
永松亮一			

選者略歴(敬称略・50音順)

●事前投句

一般部門

穴井 太 「天籟通信」代表
 伊藤 通明 「白桃」主宰
 稲畑 汀子 「ホトトギス」主宰
 岡田 日郎 「山火」主宰
 金子 兜太 「海程」主宰
 倉田 紘文 「露」主宰
 猿渡 青雨 「さわらび」主宰
 首藤 基澄 「火神」主宰
 鷹羽 狩行 「狩」主宰
 坪内 稔典 「船団」代表
 藤崎 久を 「阿蘇」主宰
 星野 椿 「玉藻」主宰
 宮部 鱒太 「夜行」主宰

●外国語部門

John E. Ingulstad
ジョン・エイングルスタッド
 九州ルーテル学院大学 人文学部教授
 西川 盛雄
 熊本大学教育学部教授

●吟行部門

佐藤 艸魚 「ホトトギス」同人
 星 永文夫 「霏霏」主宰
 前田 忠を 「春耕」同人

●当日投句部門

伊藤 通明
 岩岡 中正
 倉田 紘文
 猿渡 青雨
 坪内 稔典
 星野 椿
 宮部 鱒太

事前投句・一般部門

●草枕大賞

大観峰まっ青に梅雨明けにけり

熊本県山鹿市 有働 博子

●日本航空賞

にはとりを畳に上ぐる夜の出水

熊本県御船町 伊津野ひろ

●特選

◆穴井 太選

浮かび出し海女の胸もと十字架あり
埼玉県大宮市 前田 早苗

◆伊藤 通明 選

仲直りして草笛の良く鳴れり
愛知県岡崎市 水野 幸子

◆稲畑 汀子 選

にはとりを畳に上ぐる夜の出水
熊本県御船町 伊津野ひろ

◆岡田 日郎 選

ふるさとや城は若葉の中にあり
東京都練馬区 宮坂 和子

◆金子 兜太 選

背泳ぎの子ら噴煙を胸におく
福岡県北九州市 末次 正

◆倉田 紘文 選

刻かけて蟬美しく生れけり
熊本県熊本市 豊田 末子

◆猿渡 青雨 選

大観峰まっ青に梅雨明けにけり
熊本県山鹿市 有働 博子

◆首藤 基澄 選

新緑といえどこの城怒り肩
愛知県蒲郡市 三浦二三子

◆鷹羽 狩行 選

まだ匂ひ残つてをりし蛇の衣
福岡県大牟田市 目野 国子

◆坪内 稔典 選

露草や海女小屋あといふところ
大分県中津市 遠入みつ子

◆藤崎 久を 選

庭木みな明治を語りつ、涼し
熊本県熊本市 吉田 彩

◆星野 椿 選

滝落ちて音なき水に戻りけり
大阪府八尾市 西川 喜雄

◆宮部 鱒太 選

雁や哀しき人は城を見る
神奈川県大和市 三宅 新作

事前投句・ジュニア部門

●草枕大賞

けむしたち道路横断いそげいそげ

福岡県 千手小6 山本 沙貴

我が悩み小さく見ゆる雲の峰

熊本県 錦ヶ丘中3 淋 康平

かたつむり時をとかして進みゆく

熊本県 氷川高2 今田 愛美

●日本航空賞

城壁の穴より続く蟻の列

熊本県 熊大付中2 徳永 真帆

●Kiyoshi Hannigan (U.S.A.)

(訳) 社に通じる道いっばいの栗のいがなかなか進めない

●Kiyoshi Hannigan (U.S.A.)

(訳) 小野 善章 (大分県挾間町)

●Susan Stanford (U.K.)

(訳) スーザン スタンフォード (U.K.)

●fallen chestnut burs make it a difficult road leading to the shrine

(訳) 落ちた栗の殻が参道に敷き詰められて、参道が滑りやすくなる

●T-shirt youth chatting so close to the stone rampart Donjon in the haze

(訳) Tシャツを着た若者が石の城壁のそばでお喋りしている霧にけむる天守閣

●children race to see where the cricket w a s

(訳) 光いっぱいの子供たちが蟋蟀を見つけてようとして先を争っている

外国語部門

●草枕大賞 Kusamakura Taishou (Grand Prize)

Spider-in-waiting slyly plays her webbed harp captures the audience

蜘蛛が身構え自ら張ったハーブの弦を奏でてお見事お客様を捕まえる

●特選 Tokusen (Second Prize)

Rooftops drying After summer storm Steaming Dan Pugh (U.K.)

(訳) 夏の風が過ぎ去って屋根の上が乾いてゆく水蒸気の起っているさま

Mama's rhubarb pie coolin' on the window sill -- "Think we can reach it?" Charles B. Rodning (U.S.A.)

(訳) ママの焼くルバーブパイ窓際で冷やしているぞ「手が届くかなあ?」

dropping from the sunlit sycamore children's legs Fred Schofield (U.K.)

(訳) 光いっぱいの子供たちがプラタナスからぶら下がっている子供らの足いくつ

picking up
the water pail
carrying the moon

マシュー
Matthew
カワインヤール
Louvière
(U.S.A.)

(訳)
水桶を手にとつて
水に映る月を
運んでいく

the silence between
the lightning and
the thunder —
everything waits

パナード L.
Bernard L.
アインボンド
Einvond
(U.S.A.)

(訳)
雷光と雷鳴の狭間で
万物が待つ
その沈黙の一瞬

MIT JEDEM TROPFEN
WIRD DER EISZAPFEN
SCHLANKER
DER SCHNEEMANN
VERKLUMPT

クラス D.
Klaus D.
ワイルト
Würth
(Germany)

(訳)
一滴ずつ溶けて
つららが細くやせていく
雪だるまの形が崩れて
ひとつかたまりになる

UGAO ZARDJALOG
OLUKA - PUŽEVI SU
POSREBRILI !
(Corner of a rusty gutter
snails have turned into
silver !)

ミルヤナ ボジヤン
Mirjana Božin
(Yugoslavia)

(訳)
錆び付いた樋の角っこ
蝸牛が銀色に変わって
光っているよ

吟行投句

草枕大賞

地図石の解けない今日の秋を知る
熊本県熊本市 岩下 良子

大会当日投句

草枕大賞

家中の鏡を磨く鶴くる日
熊本県熊本市 藤井眞理子

特選

◆伊藤 通明 選

種採ってみたくなるものばかりかな
熊本県熊本市 粟津 玲子

◆岩岡 中正 選

秋扇言の葉あふざるたりけり
熊本県八代市 萱嶋 晶子

◆倉田 紘文 選

冬麗のみづうみ絹のごときかな
福岡県大牟田市 岡本 武三

◆猿渡 青雨 選

葱あまくなり一葉忌近づきぬ
熊本県熊本市 藤本とみ子

◆坪内 稔典 選

秋の夜の宿に力士とバレリーナ
長崎県諫早市 麻生 勝行

◆星野 椿 選

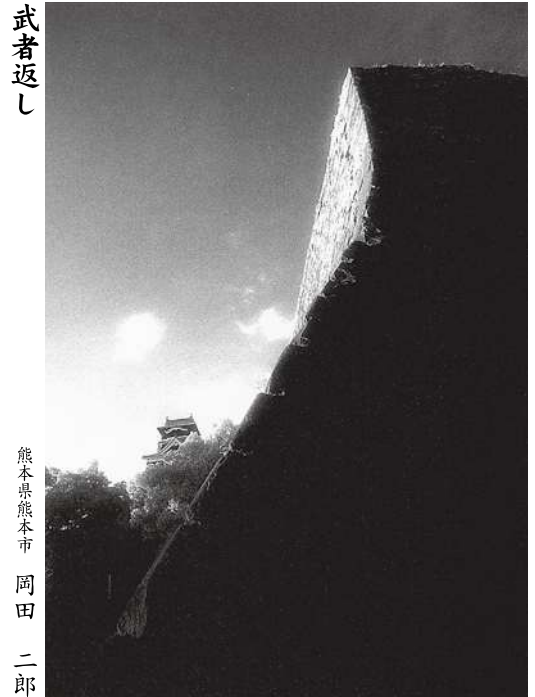
秋郊も此処迄来れば風の鳴る
熊本県大津町 武藤 規子

◆宮部 鱒太 選

家中の鏡を磨く鶴くる日
熊本県熊本市 藤井眞理子

写真部門

●● 草枕大賞



武者返し

熊本県熊本市 岡田 二郎

俳画部門

●● 草枕大賞



午砲打つ地城の上や雲の峰 (夏目漱石句)

熊本県熊本市 竹原 弘次

子どもの俳句と絵部門

●● 草枕大賞



城のぞみ
なにをぞしのぶ
イチヨウの木

熊本県熊本市 中島小6
松村 拓也

くまもとお城まつり

第3回 「草枕」全国俳句大会 夏目漱石来熊記念

草枕の玉手箱 — 「俳句」と「俳句イメージ」入賞作品集 — (平成10年)

事前投句・一般部門

「草枕」大賞

音までも透きとほりたる岩清水

福岡県直方市 水上 翠人

日本航空賞

太平洋と彼を日傘に入れにけり

熊本県熊本市 寺尾 敏子

特選

◆ 伊藤 通明 選

炎天の北を占めたり天守閣

熊本県玉名市 本田加志子

◆ 稲畑 汀子 選

宿題は持って来ただけキャンプの子

熊本県熊本市 嶋田 光子

◆ 鍵和田 袖子 選

夾竹桃夜はわだつみの魂迎ふ

熊本県熊本市 中嶋 晨子

◆ 金子 兜太 選

沙羅愛でてな夏萩に会う至福

京都府京都市 木村 良三

◆ 倉田 紘文 選

どれも名を持つ阿蘇の子のかぶと虫

福岡県北九州市 隈 可須奈

◆ 猿渡 青雨 選

空蟬の眼のほかは土の色

熊本県八代市 井上 芳秋

◆ 首藤 基澄 選

かなかなの声に明けゆく峡の里

熊本県矢部町 佐野 清江

◆ 鷹羽 狩行 選

空蟬の爪の力は葉裏まで

熊本県泗水町 田中フジコ

◆ 坪内 稔典 選

夏シャツへ阿部一族の貸し出さる

愛知県高浜市 中川 修古

◆ 藤崎 久を 選

行く秋や墓掃くだけの竹箒

熊本県小川町 松岡 節

◆ 星野 椿 選

昼顔の這ひゆく先の道祖神

長崎県佐世保市 小林 幸子

◆ 宮部 鱒太 選

赤牛百頭呼べばすぐ来る驟雨しゅううかな

熊本県荒尾市 村上 雅子

事前投句・ジュニア部門

「草枕」大賞

小学生の部

さざ波の音が聞こえるいなほかな

熊本県 画図小6 坂井奈津子

中学生の部

入道雲ずしりと重い白カバン

熊本県 松橋中3 泉 大輔

高校生の部

合宿のTシャツ乾くまで裸

熊本県 第二高2 宮崎 正志

留学生の部

息とめて線香花火に火をつける

熊本県 熊本学園大学 米岡ジュリ

日本航空賞

火の国の秋を治める肥後の城

熊本県 三和中2 首藤 崇

**Morning sun's finger
Reaching down through hole in cloud
Switches off street-lamp**

ダン ビュー
Dan Pugh
(U.K.)

(訳)
早朝の旭の指先が
雲間からスーッと下に伸びてきて
街頭の灯を消していく

●● 特選 Tokusen (Second Prize)

Nasam-it nga chico
Natin-nag idjay karayan
Ag-gigian iti ikan.
(Chico fruit so sweet
Drops into clear
running stream
Fish swishing nearby.)

ウィルヘルミナ
Wilhelmina
J. ドラムモンド
J. Drummond
(Philippine)

(訳)
とびきり甘いチコの実が
きれいな流れに落ちて
その側を魚がスイッと
走りぬける

Lane along the stream
following it down
and up.

ドゥシュコ マタス
Duško Matas
(Croatia)

(訳)
径が一本川の流れに沿って
上ったり、下ったり
ずっと向こうまで
つづいている

maize long gone-
only proud stalks
porcupine the field

モイラ クラーク
Moira Clark
(U.K.)

(訳)
玉蜀黍の収穫が終わり
茎が垂直に一面に拡って
山嵐の針のように
つづいている

Parfum sălbatic-
crizanteme galbene
in vaza de lut
(Wild scent-
yellow chrysanthemums
in the earthen vase)

ローラ ヴェシアンヌ
Laura Văceanu
(Romania)

(訳)
野生の香り---
土の花器に活ける
黄色の菊の花

吟行投句

●● 「草枕」大賞
えんま蟋蟀城の石垣ぐーんと反る

熊本県熊本市 松本 照子

●● 特選

◆ 佐藤 艸魚 選

盛衰のいまは小春の城として 熊本県熊本市 山澄 陽子

城守にこれより落葉さりもなし 熊本県熊本市 宮川ゆきえ

落葉掃く時々城を仰ぎては 熊本県熊本市 永野由美子

◆ 星永 文夫 選

城壁の銃眼くらき秋日和 熊本県熊本市 上須崎かつみ

秋の声くらがり御門あたりより 熊本県熊本市 吉住 淳子

画用紙をはみ出す城の秋日和 熊本県熊本市 浜崎恵美子

◆ 前田 忠を 選

ちよんがけの回る宇宙や城の秋 福岡県大牟田市 永岡 享子

四隅とは落着く居場所城の秋 熊本県熊本市 山澄 陽子

石落咲いて絵屏風暗き方とさす 熊本県熊本市 藤本 信義

大会三日投句

●● 「草枕」大賞

山茶花の日のある方の一二輪 熊本県熊本市 嶋田 光子

●● 特選

◆ 伊藤 通明 選

動かざる水冷やかにありにけり 熊本県八代市 山下しげ人

◆ 岩岡 中正 選

ポケットに違ふ木の実のみぎひだり 熊本県合志町 大坪 落子

◆ 鍵和田 柚子 選

梨するちはははの空濡れてくる 熊本県荒尾市 川口 一代

◆ 倉田 紘文 選

返り花濠にさざ波たつてをり 鹿児島県鹿児島市 前迫 寛子

◆ 猿渡 青雨 選

木の實手におなじ記憶のよみがえる 熊本県熊本市 枋原 綾子

◆ 星野 椿 選

水ナ底に秋の天地のありにけり 熊本県八代市 山下さと子

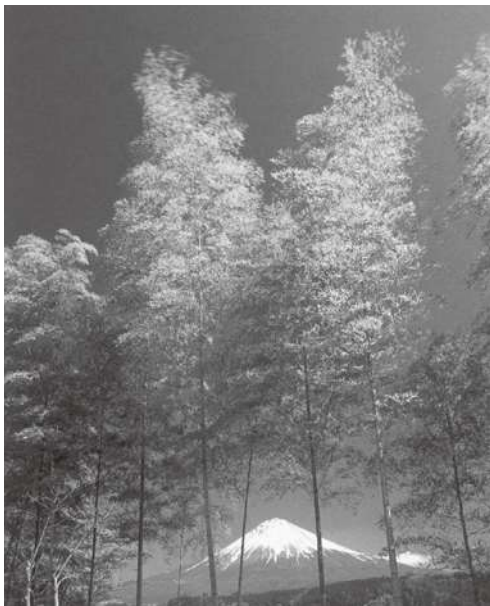
◆ 宮部 鱒太 選

世にすこし離れて座る芒山 熊本県荒尾市 川口 一代

写真部門

●● 「草枕」大賞

風渡る竹林



静岡県清水市 山田 英雄

俳画部門

●● 「草枕」大賞

分け入っても分け入っても青い山

(種田山頭火句)

熊本県益城町 荒木佳津子



くまもとお城まつり

第4回 「草枕」全国俳句大会 夏目漱石来熊記念・中村汀女生誕プレ百年記念

草枕の玉手箱 — 「俳句」と「俳句イメージ」入賞作品集 — (平成11年)

事前投句・一般部門

「草枕」大賞

阿蘇谷を水の出でゆく十三夜 東京都練馬区 緒方 輝

日本航空賞

清流にもどるはやさも江津出水 熊本県西合志町 坂田美代子

特選

伊藤 通明 選

音立て、青芦に汐満ちて来し 熊本県菊池市 北村 君子

稲畑 汀子 選

いつも草取つてゐる手でありにけり 熊本県熊本市 吉住 淳子

岩岡 中正 選

炎昼のわが影に子を入れにけり 東京都町田市 原澤 昇司

有働 亨 選

板前が水捨ててゐる良夜かな 熊本県熊本市 橋口 ふみ

鍵和田 袖子 選

花柵汝ひっそりと狂れてゆき 静岡県沼津市 石川 義倫

金子 兜太 選

風花や次の走者は屈伸す 神奈川県大和市 平綿 涼風

倉田 絃文 選

初恋の人の妹夏椿 大分県大分市 小幡 展代

黒田 杏子 選

能果てて夜も深みゆく稲光 熊本県熊本市 小夏 徳子

猿渡 青雨 選

峰々を稲妻飛びて阿蘇の闇 熊本県鹿本町 渡辺 純子

首藤 基澄 選

岩清水さらさら受胎告知の日 福島県郡山市 丹治 法男

事前投句・ジュニア部門

「草枕」大賞

小学生の部

大なわをみんなで飛ばば風かおる 福井県 順化小6 吉田智香子

中学生の部

竹刀持つ確かな気持ち初稽古 熊本県 千丁中2 高井 幸一

高校生の部

蘭草刈り母の睡眠刈つていく 熊本県 永川高2 松田有紀美

留学生の部

いなずまの綱を引き合う山と雲 広島県 広島大学 阮 文雅

日本航空賞

しがみつくセミのぬけがら熊本城 熊本県 榆木小6 東 亜裕実

外国語部門

草枕大賞 Kusamakura Taishou (Grand Prize)

(訳)

a sleepy village wrapped round the chimneys scarfs of autumn mist

まだ明けやらぬ人里離れた村 数本の煙突の周りを秋霧のスカートが すっぽりと包み込んでゐる

特選 Tokusen (Second Prize)

Zufahrt zur Fähre. Auf dem Asphalt, plattgewalzt, ein Arbeitshandschuh. (ドイツ)

(訳) フェリーへの進入路 アスファルトの上に ベチャンコになった 軍手がひとつ

In snow disturbed by bows & dancing, crane begins to preen (イギリス)

キース J. Keith J. コールマン Coleman (イギリス)

(訳) 鶴がおじぎをしてるよ 雪中で踊っているよ さあ身繕いのはじまりだ

Bright colored fall vines Explore that old brick building With questing fingers (アメリカ)

(訳) 色鮮やかな秋の蔦が 古風な煉瓦づくりの壁を 探索する指先となって 拡がっている

Herrings silver shoal Ravenous gull poised - Pandemonium (アメリカ)

アンドリエヌ Adrienne ウェッジウッド Wedgwood (アメリカ)

(訳) 銀色のにしんの群れがはねて 鴨が空から狙って急降下と その一瞬の水面の修羅場

lietna tišina : na grani iznad vode miruje konjic (the summer silence : on the bough above water dragonfly at rest)

(訳) 夏の日のしずけさ 水面に枝が垂れて 安らいでいる蜻蛉のひとつ

Tree's exposed gnarled roots tenacious years of growing crumbling river bank. (オーストラリア)

パットオブライアン Pat O'Brien (オーストラリア)

(訳) 節くれだった木の根が むき出しになって 不屈に成長してきた年月 川の土手がぼろぼろになるまで

Minute ice crystals
In silent cafe windows
the great Rockies loom

マーク ロウイ
Mark Rowe (カナダ)
(訳)
微細な水の結晶体が
カフェの窓ガラスに拡がって
おぼろに
映る巨大なロッキーの輪郭

Dostavno vozilo
radi u snijegu -
mirisi kruha
(A delivery car
working in the snow -
the smell of the bread)

ズデンコ オレツチ
Zdenko Oreč (クロアチア)
(訳)
配達車が来て
雪の中で「毎度ありー」
辺りはパンの薫りで
いっぱいだ

translucent shell
bricks
wet
up
slowly
snail
baby

マーク パワー
Mark Power (オーストラリア)
(訳)
半透明の蝸牛殻
煉瓦の上の
湿った
上がってゆく
ゆつくりと
赤ちゃんが
かたつむりの

Among the great stones
set to defend the castle -
young ferns find refuge

ロバート メイジャー
Robert Major (アメリカ)
(訳)
大きな石組の間で
羊歯の子供たちがひっそりと
身を隠し
城を護ってことに備えている。

吟行投句

「草枕」大賞

石投げて湖一枚を破る秋

熊本県熊本市

水田 絹子

中村汀女賞

四つ目の橋より昏れて江津湖冷ゆ

熊本県熊本市

川波 流

特選

小川濤美子 選

熊本県熊本市

高木千恵子

初鴨に江津の月日の新しく

熊本県熊本市

藤本とみ子

遠く来てみな秋水に触れにけり

熊本県熊本市

石塚 和子

溝そばに湧水溢れやまざりし

熊本県熊本市

桑野 園女

絵具解く江津の秋水掬ひあげ

福岡県方城町

工藤 寿子

鴨の来て江津の大景調へる

熊本県熊本市

笠井 貞子

天と湖光り合ひたる秋日和

熊本県熊本市

山澄 陽子

天高し歩けば湖の円くなる

熊本県熊本市

松村 葉子

数珠玉や掌くぼに残る日の匂ひ

熊本県熊本市

吉井みつぎ

鴨来たる荒行終えし僧のごと

熊本県熊本市

工藤 素子

蜻蛉句碑しじまの中に木の葉落つ

福岡県柳川市

木下方沙羅

立て直すころにうれし返り花

熊本県熊本市

中村 康子

翔ぶ鷺の影もまたとぶ秋の湖

熊本県熊本市

秋野 長利

大会当日投句

「草枕」大賞

母の忌に泊る妹十三夜

熊本県熊本市

山崎ルリ子

特選

伊藤 通明 選

熊本県西合志町

山本 淑子

胡桃割るお菓子のレシビなど出して

熊本県熊本市

大森 辰代

帰る花散りて重なることもなし

熊本県熊本市

栗津 玲子

倉田 紘文 選

熊本県熊本市

あまの樹懶

手のとどく所にも咲き返り花

熊本県熊本市

木下 英

猿渡 青雨 選

熊本県熊本市

栗津 玲子

今生も来世もをんな一葉忌

熊本県熊本市

栗津 玲子

坪内 稔典 選

熊本県熊本市

栗津 玲子

大花野来て牛の眼の中にいる

熊本県熊本市

栗津 玲子

星野 椿 選

熊本県熊本市

栗津 玲子

小鳥来て赤のマニキュア塗りたき日

熊本県熊本市

栗津 玲子

宮部 鱧太 選

熊本県熊本市

栗津 玲子

丹波栗三男坊は駿馬です

熊本県熊本市

栗津 玲子

「草枕」大賞

子どもの俳句と絵部門



なかせら
中空にとまらんとする落花かな
(中村汀女句)
熊本県合志町 草本 純子

俳画部門

「草枕」大賞



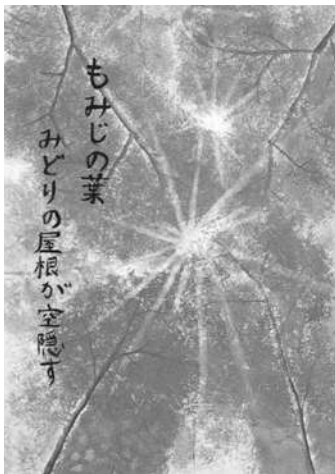
みずせめ
水攻の城
落ちんとす
五月雨
(夏目漱石句)
熊本県 中島小6 木村 修徳

写真部門

「草枕」大賞



花飾り
熊本県熊本市 黒瀬 博恭



もみじの葉みどりの屋根が空隠す
熊本県 八代第八中3 丸山 志乃

くまもとお城まつり

第5回「草枕」全国俳句大会 夏目漱石記念・中村汀女生誕百年記念

草枕の玉手箱 — 「俳句」と「俳句イメージ」入賞作品集 — (平成12年)

専門投句・一般部門

「草枕」大賞

平成十二年十月一日付で大賞句を発表しましたが、受賞該当者本人より二重投句をした旨の詫び状が届いたため大会規定に従い取り消しになりました。

日本航空賞

晚白袖月のごときを抱へくる

熊本県熊本市 若宮 瑞穂

特選

◆伊藤 通明 選

◆縮雲田原坂より始まれり

熊本県玉名市 上野 玲子

◆稲畑 汀子 選

影といふ見ゆる涼しさありにけり

熊本県熊本市 丸山ゆきこ

◆岩岡 中正 選

陶枕に狸の往き来の穴ふたつ

宮崎県延岡市 玉木 節花

◆有働 亨 選

中心のどこにもありて蟬時雨

香川県牟礼町 和泉 金子

◆鍵和田袖子 選

カルデラは神のてのひら鳥交る

福岡県福岡市 岡部ヤエ子

◆金子 兜太 選

佳い音だ出雲の國の種袋

熊本県熊本市 寺尾 敏子

◆倉田 紘文 選

目かくしの手のやはらかき大花野

大分県三重町 川野 智子

◆猿渡 青雨 選

海底が暗しと嘆く梅雨の海女

茨城県日立市 町井すみれ

専門投句・ジュニア部門

「草枕」大賞

小学生の部

うぐいすによばれ吊橋わたりきる 徳島県八万小5年 小谷かおり

中学生の部

漱石が歩みし道や竹の秋 熊本県京陵中2年 京 瑛子

高校生の部

出稼ぎの父のかばんに祭笛 愛知県東浦高3年 西九 賢司

留学生の部

該当なし

日本航空賞

言葉皆違う仲間とテント張る

福岡県伊田中1年 藏本 翔

外国語部門

草枕大賞 Kusamakura Taishou (Grand Prize)

hazy islands
drifting out to sea
on the ebbing day……

キャサリン
Catherine
バロック
Bullock
(ニュージーランド)

(訳)
遠くに霞む島々
沖に向かって漂って 流れて行く
引き潮の日に…

特選 Tokusen (Second Prize)

dolphin's arc
crossing the wave's arch
and it's own shadow
ニコラ
NIKOLA
ニイリツ
NILIC
(クロアチア)

(訳)
ドルフィンが円弧を描いて
波頭の飛沫く円弧と
自らの影の円弧を
跳び越える

In der Mittagsglut
steht die Zeit still,
doch im Mais
hört man, wié es wächst.
クラウス D.
Klaus D.
ウィルト
WIETH
(ドイツ)

(訳)
林間の熱さの中で
時が止まったよう。だが玉蜀黍
黍皇の中には命が育っている
音が聴こえる

Watering.
Between the roses and me -
a rainbow.
ジェリコ ファンダ
Zeljko Funda
(クロアチア)

(訳)
花に水をやっている
薔薇の花と私の間に…
ふいに虹が出て

Sunlight retreating
vesperine fingers spreading
enveloping all
ケビン D.
Kevin D.
ジャクソン
Jackson
(オーストラリア)

(訳)
日差しが傾いて
夕焼けの光の指が拡がって
すべてを包み込む

Market counter -
Wet with dew drops
the stawberries smell
ビトミール M.
Vitomir M.
ウィタタ
Witata
(セルビア)

(訳)
市場の店先で…
しっぽりと露にぬれて
苺が香る

a deer is drinking -
it's front hooves making
imprints
in the water-cress
ベロニカ
Veronica
ハウイー
Haughey
(ニュージーランド)

(訳)
鹿が水を飲んでいる…
ひずめの痕を
クレッソンの中に留めて

to be a damsel fly
or to be its silhouette
above the duckweed

Zenzo Toda (訳)
(日本・熊本県) 一匹の糸トンボ
そうでなければそのシルエット
水浮草の上

two windscreen wipers
sidelong threats yet recoiling
from confrontation

Ellis Davies (訳)
(イギリス) エリス デービス
二本のワイパー(蛇)が
互いに脅かす(とぐるを巻
く)振りをしてながらも
けっして争ったりはしない

END OF THE SEASON -
A BUTTON IS
GLISTENING
ON THE BEACH
AMONG SHELLS

Gabriela G. (訳)
(ルーマニア) ガブリエラ G.
グロザ
Groza
季節の終わりに…
海岸でボタンがひとつ
貝殻の中にまぎれて光っている

between two pines
a spider thowing his web over
a dewy landscape

Tomislav Maretic (訳)
(クロアチア) トミスラフ
マレチク
松の木と松の木の間に
蜘蛛が一匹巣を掛けて
玉露で濡れて光る様

吟行投句

「草枕」大賞

初鴨といふ美しき距離にをり 熊本県熊本市 荒牧 成子

中村汀女賞 熊本県熊本市 小夏 徳子

特選

小川瀧美子 選 熊本県熊本市 上須崎かつ美

湖風のはた〜鳴らし破芭蕉 熊本県熊本市 伊藤 明子

鴨鳴いて汀女あさうな塘つたひ 福岡県古賀市 松尾すよ子

溝蕎麦の一叢のなか水音あり 熊本県熊本市 西 美愛子

末枯れてこわれそうなる影を置き 熊本県熊本市 桑本かつ代

雨音に破芭蕉ともなりゆきて 熊本県熊本市 つのだともこ

湖明り取り込み荘の障子貼る 熊本県熊本市 古木マツ子

星永 文夫 選 熊本県熊本市 川野 智子

初鴨の空より湖の動きそむ 大分県三重町 上須崎かつ美

真つさらになるまで秋の雨の中 熊本県熊本市 桂 瑞枝

蜻蛉のつとたち風となりにけり 熊本県熊本市 長崎島原市 平尾 圭太

前田 忠を 選 熊本県熊本市 広岡 和枝

百年の過客となりてしぐれけり 熊本県熊本市 松村 梅男

植樹してすでに冬芽の汀女梅 熊本県熊本市 西 美愛子

青墨の句碑のかな舞ふ芦の絮 熊本県熊本市 市丸 志郎

細き指立てて秋思の弥勒仏 熊本県玉名市 松村 照子

伊藤 通明 選 福岡県大牟田市 松村 梅男

空堀に水の道すじ草枯る、 熊本県熊本市 西 美愛子

岩岡 中正 選 熊本県熊本市 市丸 志郎

右類は秋思の指のゆくところ 熊本県熊本市 前迫 寛子

鍵和田柚子 選 福岡県北九州市 市丸 志郎

火の国の刈田へ駒み火を熾す 福岡県小郡市 荒金 久平

倉田 紘文 選 熊本県熊本市 松本 照子

一族の揃えば鳩の笛を吹く 熊本県熊本市 松本 照子

猿渡 青雨 選 熊本県熊本市 松本 照子

一代に終りし一誌素十の忌 熊本県熊本市 松本 照子

坪内 稔典 選 熊本県熊本市 松本 照子

手をあげて満月に触れるまで歩く 熊本県熊本市 松本 照子

大会山口投句

「草枕」大賞

星野 椿 選 熊本県熊本市 山澄 陽子

返り花人に戻らぬ月日かな 熊本県熊本市 山澄 陽子

宮部 鱒太 選 熊本県熊本市 松本 照子

柿一つ仏は片目瞑るなり 熊本県熊本市 松本 照子

何程のもてなしも無く水を万九 熊本県熊本市 井上 鳥子

何程の 熊本県熊本市 井上 鳥子

雨も待つ 熊本県 宮原小4

かえるの音が 熊本県 宮原小4

歌のよう 熊本県 宮原小4

阿蘇谷を 熊本県 宮原小4

水の出てゆく 熊本県 宮原小4

十三夜 (緒方 輝句) 熊本県 楠中1

子どもの俳句と絵部門

「草枕」大賞



何程のもてなしも無く水を万九
熊本県熊本市 井上 鳥子



雨も待つ
かえるの音が
歌のよう
熊本県 宮原小4
濤岡 浩平

写真部門

「草枕」大賞



昼下りの農道
熊本県熊本市 岩見 良城



阿蘇谷を
水の出てゆく
十三夜
(緒方 輝句)
熊本県 楠中1
江崎 華

くまもとお城まつり

第6回

「草枕」

全国俳句大会 夏目漱石顕彰

「草枕」の玉手箱 ―俳句と俳句イメーシ入賞作品集― (平成13年)

専門投句・一般部門

「草枕」大賞

鶴引くや空には空の荒野あり 埼玉県朝霞市 有永 吉伸

日本航空賞

大阿蘇をまるごと貰ひみどりの日 福岡県福岡市 洪田千々穂

特選

◆ 稲畑 汀子 選

飽きられてよりの金魚の平和かな 兵庫県尼崎市 ほりもとちか

◆ 岩岡 中正 選

忘れ物してで、むしの引き返す 鹿児島県伊集院町 宮野 崇子

◆ 有働 亨 選

花冷えの謡のなかの死者の声 熊本県熊本市 後藤 博文

◆ 大岳水 一路 選

阿蘇九重新涼の風つなぎけり 熊本県熊本市 西 美愛子

◆ 鍵和田 袖子 選

山さくら岩が叡智のごと坐る 北海道池田町 大塚 珀蛾

◆ 金子 兜太 選

登山靴あの重たさはもう履けない 熊本県高森町 佐伯 文雄

◆ 倉田 紘文 選

空蟬となりて双手をついている 熊本県中央町 平川 義光

◆ 猿渡 青雨 選

麻痺したる足ころがして妻昼寝 佐賀県牛津町 池田 小楠

◆ 首藤 基澄 選

遠郭公真澄の空を広げけり 熊本県熊本市 立山リツ子

◆ 坪内 稔典 選

グライダー影より着地して晩夏 東京都あきる野市 木下 蘇陽

◆ 星野 椿 選

汀女郎解かれて残る門の萩 熊本県熊本市 乙丸 幸代

◆ 宮部 鱧太 選

日常の正面にあり山桜 熊本県熊本市 藤井眞理子

専門投句・ジュニア部門

「草枕」大賞

小学生の部

花のたねいろんないのちのかたちだね 熊本県宮原小3年 岡 拓磨

中学生の部

金魚すくい子供にもどる父がいる 愛知県安城西中2年 佐藤 尚広

高校生の部

菊展の奥にそびゆる天守閣 熊本県東海第二高2年 金栗 瑠美

留学生の部

該当なし

日本航空賞

ブッポウソウ森にとけこむ緑色 熊本県白糸第三小6年 東 啓太

外国語部門

草枕大賞 Kusamakura Taishou (Grand Prize)

Na dnu reke
sesir starog lavora
i mesecev srp.
On the riverbottom
a hat that was someone's once
and the sickle moon

(訳)
川底に
昔の持ち主の帽子と
月の鎌

特選 Tokusen (Second Prize)

June beginning.
In the empty snail shell
smell of linden.

チェリコ ファンダ
Zeljko Funda
(クロアチア)
(訳)
六月の始まり
カタツムリの抜けた殻には
菩提樹の香り

winter stillness
the halo around
each star

ブルース ロス
Bruce Ross
(アメリカ)

(訳)
冬の夜のしづかさ
どの星にも見える
光背の暈

fraîcheur intacte
de la couleur retrouvée
au pli d'un rideau

ピヌーダニエル
PY Daniel
(フランス)
(訳)
カーテンの
折り目の襞に見つけた
元の色の新しさ

Ein Regentropfen
fällt in die Teetasse,
bewegt den Himmel.

フーベルトゥス
Hubertus
Thum
(ドイツ)

(訳)
一粒の雨
茶碗の中に落下して
天を動かす

freshness intact
of the rediscovered colour
in the fold of a curtain

A raindrop
falls into the teacup,
moves the sky.

na pučini
u mreži ribara
ulovljeno svitanje

イワン デレク
Ivan Derek
(クロアチア)

(訳)
海深く
漁師の魚網に
掛かっている朝焼けの光

On the deep sea
in the fisherman's net
the dawn has been caught.

suder galeba
sa svojom senkom u reci -
ribica bljesnu

ミロザフ
Milosav
ドデロビッチ
Doderović
(セルビア)

(訳)
水鳥が
川面に映る自分の
影にぶつかって
小魚がきらめく一瞬の時

gull collided with
its shadow on the river
flash of a little fish

SVJEZ SNIJEG POKRIVA
STARI LONAC NA GLAVI
SNJEGOVIČA

マレラ ミミカ
Marela Mimica
(クロアチア)

(訳)
新雪が
雪だるまの頭の上の
古壺にも積もってるよ

Fresh snow covering
an old pot on the head
of a snowman.

Blue sky above,
sea-gulf's white dividing it
from blue sea below.

デビデ ウラディミール
DevidéVladimir
(クロアチア)

(訳)
頭上の青い空と
地上の青い海を
鴈の白い影が分けていく

hail and wind -
of the scarecrow
only the cross remains

エディンサラチエビッチ
Edin Saračević
(スロベニア)

(訳)
案山子に降りかかる
雹と風
十字架だけが残されて

Among the mountains
green rice fields heavenward
like a staircase

トモミ アカマツ
Tomomi Akamatsu
(日本・兵庫県)

(訳)
山懐の中
緑の棚田が天に向かって
階段のよう

吟行投句

「草枕」大賞

風化して石風化して秋の声

熊本県熊本市 松村 葉子

中村汀女賞

秋雨にきて城の威の親しかり

熊本県熊本市 中川原涼子

特選

小川濤美子 選

大銀杏黄葉を仰ぐべく退る

熊本県大津町 西本 明子

武者返し天守は巖と鳥わたる

東京都武蔵野市 守永 規子

外濠は激つ川なり秋の雨

東京都狛江市 新井 悠二

佐藤 艸魚 選

菊の前静かに日本人となる

熊本県熊本市 荒牧 成子

落葉降る城にもありし勝手口

熊本県熊本市 西 美愛子

お城はや冬の孤独に入りけり

熊本県熊本市 上須崎かつ美

星永 文夫 選

二の丸を歩いて秋の耳さわぐ

熊本県熊本市 水田 絹子

ゼブラゾーン渡る時雨の城へ向き

熊本県熊本市 野口 南枝

木犀のどこから雨の登城径

熊本県熊本市 近藤ひかる

前田 忠を 選

反ればなほ秋冷到る城の垣

熊本県玉東町 安田かしこ

朴の葉の婆娑と落つ音刑部邸

熊本県熊本市 荒木 明

雨に折れ日に折れ城の枯蓮

熊本県熊本市 吉井みつき

大会三回投句

「草枕」大賞

熊本は城より明けて小春かな

神奈川県横浜市 柳沢仙渡子

特選

岩岡 中正 選

初鴨のかたまりやすき四五羽かな

熊本県西合志町 坂田美代子

大岳水一路 選

銃眼は城壁の窓一葉落つ

熊本県熊本市 加藤 玲子

倉田 紘文 選

昼灯漱石旧居しぐれけり

熊本県熊本市 中嶋 富恵

猿渡 青雨 選

一国に一城一湖夜鴨鳴く

福岡県大牟田市 嶽本 由美

星野 椿 選

箱船の漂つてるし初時雨

福岡県大牟田市 河口真知子

宮部 鱒太 選

沖といふ時雨れて定かならぬもの

熊本県熊本市 竹屋 睦子

写真部門

「草枕」大賞

つぶらな瞳

東京都足立区 長日部敏治



俳画部門

「草枕」大賞

初鴨といふ美しき距離にをり

熊本県熊本市 椿 靖子



草枕大賞

子どもの俳句と絵部門

虫めがね

のぞいてアリと

話する

虫めがね

のぞいて

アリと

話する

熊本県宮原小3年
野崎 祥平



蟬しぐれ

水輪百千

みな清水

(中村汀女句)

熊本県七滝中3年
大山 優子



くまもとお城まつり

第7回 「草枕」 国際俳句大会 夏目漱石顕彰

「草枕」の玉手箱 ―俳句と俳句イメージ入賞作品集― (平成14年)

事前投句・一般部門

「草枕」大賞

芙蓉咲き大きな朝となりけり 兵庫県加古川市 赤松ともみ

日本航空賞

石人の乳房豊かや大夕焼 熊本県熊本市 内藤 悦子

J Aグループ熊本/熊本県産米品質向上運動本部賞

夏被受けて胎動新たななり 福井県福井市 渡邊 和子

特選

稲畑 汀子 選

字余りかいや字足らずか紙魚一つ 熊本県玉東町 安田かしこ

岩岡 中正 選

ブラジルに始まる家系天高し ブラジル 坂本美代子

有働 亨 選

棚経の真只中に襪襟替ふ 神奈川県茅ヶ崎市 岡田 貞二

大岳水一路 選

阿蘇寝釈迦より雲の峰立ちあがる 福岡県大牟田市 介弘 紀子

鍵和田柚子 選

姿見の曇りを拭いて漱石忌 群馬県大泉町 椎名 和代

金子 兜太 選

蠅叩き父は握りて記念写真 熊本県熊本市 北島 晶子

倉田 紘文 選

置かれたるやうに影置く日向ぼこ 熊本県矢部町 濱田 洋子

猿渡 青雨 選

米塚は黄管に埋もれ暮れにけり 大分県大分市 渡辺 節子

首藤 基澄 選

鈴虫のすすふる夜の看取りかな 福岡県大牟田市 石橋 武子

坪内 稔典 選

古里の三年二組の青田かな 福岡県大川市 中原南大喜

星野 椿 選

四五人の客あり月の牧番屋 熊本県熊本市 高野よしたか

宮部 鱧太 選

麦秋に噓せて大きなにぎりめし 熊本県熊本市 藤井眞理子

事前投句・ジュニア部門

「草枕」大賞

小学生の部

あさがおのつるはうちゆうへつづいてる 熊本県本荘小1年 植田 凌雅

中学生の部

水温む年輪深き丸太橋 茨城県麻生第一中2年 箕輪 香

高校生の部

葡萄摘む掌中に入る阿蘇の峰 熊本県東海第二高3年 金粟 瑠美

留学生の部

該当なし

日本航空賞

日韓の梅雨をかき消す応援歌 熊本県荒尾第一中3年 伊藤 隼

外国語部門

草枕大賞 Kusamakura Taishou (Grand Prize)

(訳)
人形的笑顔繕ふ夜なべかな
冬の夕べ
細かい縫い目で
人形の顔に笑顔が戻る

winter evening
with tiny stitches
the doll's smile returns

イングリッド クンシュケ
Ingrid Kunschke
(ドイツ)

特選 Tokusen (Second Prize)

有馬 朗人 選 Selected by Mr. Akito Arima

Lukewarm midnight.
The moon is silvers
the rusty ship.
パルメーロ
Palmero,
エルトレ ホセ
Ertore José
(アルゼンチン)

On the shell
of the snail
a snowflake.

(訳)
クヴェリエー ウィリー
Cuvelier Willy
雪片や蝸牛の骨の上
(ベルギー)

across the window
of an abandoned house
a wisteria bloom
ジェロム
Jerome
クッシュマン
Cushman
(アメリカ)

(訳)
廃屋の窓にかかりて藤咲けり

A white cat
runs up a tree
A sign of summer
shows up

(訳)
奥富 初江
雪兆す白猫は木に登りけり
(日本・東京都)

◆ 西川 盛雄 選 Selected by Mr. Morio Nishikawa

Startled newborn lambs
blink at spring and
tremble their
temporary tails

ベル ロバートソン
Bell Robertson
アヴェリー
Avery
(ニュージーランド)
(訳)
新生の子羊たち きよとんと
瞬きを一時春の日に向けて
尻尾を震わせている

drops of spring rain
hanging on the wire-
in each a sun

ミロサフ
Milosav
ドデロヴィチ
Doderovic
(ユーゴスラビア)
(訳)
春雨の雫が
電線に列んで…
一雫一雫ごとの太陽

Melted snow
seeing off winter
down the river.

スラタ ボゴヴィチ
Zlata Bogović
(クロアチア)
(訳)
雪解けの雪が
川を下る水に託して
冬を見送っている

serene lake -
the birch leaf touched
the white cloud

ラドバン
Radovan
ジバノヴィチ
Živanović
(ユーゴスラビア)
(訳)
静かな湖で—
白樺の葉が水の上
白雲に触れていた

Otopljen snijeg
niz rijeku
ispraća zimu.

◆ ファレル D. クリアー 選 Selected by Mr. Farrell D. Cleary

forget-me-not sea
a woman with empty creel
sail on the skyline

モイラ クラーク
Moira Clark
(イギリス)
(訳)
忘れな草の海
空の魚籠をもった女が一人
漕ぎ出していく空の輪郭

Light on the thorns.
My granny's yellowed photo
in the black prayerbook.

ネディリコ
Nediljko
ボバン
Boban
(クロアチア)
(訳)
薔薇の刺に射す光
黒い祈祷書の中には
黄色く色変わりした
祖母の写真

kite flying
I slowly unravel
the day

レスリー ダール
Lesley Dahl
(カナダ)
(訳)
凧が飛んでいる
私はゆっくりと
纏れた一日を解きほく

Edge of the road-
the partridge drinks
the dew on the poppy.

ステラ モイセ
Stela Moise
(ルーマニア)
(訳)
道端で一
鶉が芥子の花露を
飲んでいる

◆ 鍵和田 柚子 選
ゆく秋のふりかへりつ、歩きけり

◆ 大岳水 一路 選
時雨れては水は新たな色となる

◆ 岩岡 中正 選
露けさに言の葉一つ省きけり

◆ 種田山頭火賞
わが影のふと懐かしき冬日かな

◆ 「草枕」大賞
水の神火の神冬に入りしかな

◆ 大会三回投句部門
流鏑馬の的のびしりと寒を打つ

◆ 前田 忠を 選
戦なき世や空濠の草の花

◆ 星永 文夫 選
天守より翼を得たる木の葉散る

◆ 佐藤 艸魚 選
城に生き城に枯れたるいぼむしり

◆ 金沢 富水 選
天守閣登れば阿蘇は霧に浮く

◆ 小川 濤美子 選
流鏑馬の一矢発止と冬に入る

◆ 菊師 いま肥後の掟に添ひ手入れ
火の阿蘇と水の江津湖と秋二つ

◆ 色変へぬ松侍らせて天守閣
開眼の一句が欲しく露とばし

◆ 色鳥のごとく樹林へ入りけり
冬の城肩怒らせて這入りけり

◆ 鏡眼を抜きて冬風となる
ビル四角天守三角初しぐれ

◆ 前田 忠を 選
戦なき世や空濠の草の花

◆ 星永 文夫 選
天守より翼を得たる木の葉散る

◆ 佐藤 艸魚 選
城に生き城に枯れたるいぼむしり

◆ 金沢 富水 選
天守閣登れば阿蘇は霧に浮く

◆ 小川 濤美子 選
流鏑馬の一矢発止と冬に入る

◆ 菊師 いま肥後の掟に添ひ手入れ
火の阿蘇と水の江津湖と秋二つ

◆ 色変へぬ松侍らせて天守閣
開眼の一句が欲しく露とばし

◆ 色鳥のごとく樹林へ入りけり
冬の城肩怒らせて這入りけり

◆ 鏡眼を抜きて冬風となる
ビル四角天守三角初しぐれ

◆ 前田 忠を 選
戦なき世や空濠の草の花

◆ 星永 文夫 選
天守より翼を得たる木の葉散る

◆ 佐藤 艸魚 選
城に生き城に枯れたるいぼむしり

◆ 金沢 富水 選
天守閣登れば阿蘇は霧に浮く

◆ 小川 濤美子 選
流鏑馬の一矢発止と冬に入る

◆ 菊師 いま肥後の掟に添ひ手入れ
火の阿蘇と水の江津湖と秋二つ

◆ 色変へぬ松侍らせて天守閣
開眼の一句が欲しく露とばし

◆ 色鳥のごとく樹林へ入りけり
冬の城肩怒らせて這入りけり

◆ 鏡眼を抜きて冬風となる
ビル四角天守三角初しぐれ

◆ 前田 忠を 選
戦なき世や空濠の草の花

◆ 星永 文夫 選
天守より翼を得たる木の葉散る

◆ 佐藤 艸魚 選
城に生き城に枯れたるいぼむしり

◆ 金沢 富水 選
天守閣登れば阿蘇は霧に浮く

◆ 小川 濤美子 選
流鏑馬の一矢発止と冬に入る

◆ 菊師 いま肥後の掟に添ひ手入れ
火の阿蘇と水の江津湖と秋二つ

◆ 色変へぬ松侍らせて天守閣
開眼の一句が欲しく露とばし

◆ 色鳥のごとく樹林へ入りけり
冬の城肩怒らせて這入りけり

◆ 鏡眼を抜きて冬風となる
ビル四角天守三角初しぐれ

◆ 前田 忠を 選
戦なき世や空濠の草の花

◆ 星永 文夫 選
天守より翼を得たる木の葉散る

◆ 佐藤 艸魚 選
城に生き城に枯れたるいぼむしり

◆ 金沢 富水 選
天守閣登れば阿蘇は霧に浮く

◆ 小川 濤美子 選
流鏑馬の一矢発止と冬に入る

◆ 菊師 いま肥後の掟に添ひ手入れ
火の阿蘇と水の江津湖と秋二つ

◆ 色変へぬ松侍らせて天守閣
開眼の一句が欲しく露とばし

◆ 色鳥のごとく樹林へ入りけり
冬の城肩怒らせて這入りけり

◆ 鏡眼を抜きて冬風となる
ビル四角天守三角初しぐれ

◆ 前田 忠を 選
戦なき世や空濠の草の花

◆ 星永 文夫 選
天守より翼を得たる木の葉散る

◆ 佐藤 艸魚 選
城に生き城に枯れたるいぼむしり

◆ 金沢 富水 選
天守閣登れば阿蘇は霧に浮く

◆ 小川 濤美子 選
流鏑馬の一矢発止と冬に入る

◆ 菊師 いま肥後の掟に添ひ手入れ
火の阿蘇と水の江津湖と秋二つ

◆ 色変へぬ松侍らせて天守閣
開眼の一句が欲しく露とばし

◆ 色鳥のごとく樹林へ入りけり
冬の城肩怒らせて這入りけり

◆ 鏡眼を抜きて冬風となる
ビル四角天守三角初しぐれ

◆ 前田 忠を 選
戦なき世や空濠の草の花

◆ 星永 文夫 選
天守より翼を得たる木の葉散る

◆ 佐藤 艸魚 選
城に生き城に枯れたるいぼむしり

◆ 金沢 富水 選
天守閣登れば阿蘇は霧に浮く

◆ 小川 濤美子 選
流鏑馬の一矢発止と冬に入る

◆ 菊師 いま肥後の掟に添ひ手入れ
火の阿蘇と水の江津湖と秋二つ

◆ 色変へぬ松侍らせて天守閣
開眼の一句が欲しく露とばし

◆ 色鳥のごとく樹林へ入りけり
冬の城肩怒らせて這入りけり

◆ 鏡眼を抜きて冬風となる
ビル四角天守三角初しぐれ

◆ 前田 忠を 選
戦なき世や空濠の草の花

◆ 星永 文夫 選
天守より翼を得たる木の葉散る

◆ 佐藤 艸魚 選
城に生き城に枯れたるいぼむしり

◆ 金沢 富水 選
天守閣登れば阿蘇は霧に浮く

◆ 小川 濤美子 選
流鏑馬の一矢発止と冬に入る

◆ 菊師 いま肥後の掟に添ひ手入れ
火の阿蘇と水の江津湖と秋二つ

◆ 色変へぬ松侍らせて天守閣
開眼の一句が欲しく露とばし

◆ 色鳥のごとく樹林へ入りけり
冬の城肩怒らせて這入りけり

◆ 鏡眼を抜きて冬風となる
ビル四角天守三角初しぐれ

◆ 前田 忠を 選
戦なき世や空濠の草の花

◆ 星永 文夫 選
天守より翼を得たる木の葉散る

◆ 佐藤 艸魚 選
城に生き城に枯れたるいぼむしり

◆ 金沢 富水 選
天守閣登れば阿蘇は霧に浮く

◆ 小川 濤美子 選
流鏑馬の一矢発止と冬に入る

◆ 菊師 いま肥後の掟に添ひ手入れ
火の阿蘇と水の江津湖と秋二つ

◆ 色変へぬ松侍らせて天守閣
開眼の一句が欲しく露とばし

◆ 色鳥のごとく樹林へ入りけり
冬の城肩怒らせて這入りけり

◆ 鏡眼を抜きて冬風となる
ビル四角天守三角初しぐれ

◆ 前田 忠を 選
戦なき世や空濠の草の花

◆ 星永 文夫 選
天守より翼を得たる木の葉散る

◆ 佐藤 艸魚 選
城に生き城に枯れたるいぼむしり

◆ 金沢 富水 選
天守閣登れば阿蘇は霧に浮く

◆ 小川 濤美子 選
流鏑馬の一矢発止と冬に入る

◆ 菊師 いま肥後の掟に添ひ手入れ
火の阿蘇と水の江津湖と秋二つ

◆ 色変へぬ松侍らせて天守閣
開眼の一句が欲しく露とばし

◆ 色鳥のごとく樹林へ入りけり
冬の城肩怒らせて這入りけり

◆ 鏡眼を抜きて冬風となる
ビル四角天守三角初しぐれ

◆ 前田 忠を 選
戦なき世や空濠の草の花

◆ 星永 文夫 選
天守より翼を得たる木の葉散る

◆ 佐藤 艸魚 選
城に生き城に枯れたるいぼむしり

◆ 金沢 富水 選
天守閣登れば阿蘇は霧に浮く

◆ 小川 濤美子 選
流鏑馬の一矢発止と冬に入る

◆ 菊師 いま肥後の掟に添ひ手入れ
火の阿蘇と水の江津湖と秋二つ

◆ 色変へぬ松侍らせて天守閣
開眼の一句が欲しく露とばし

◆ 色鳥のごとく樹林へ入りけり
冬の城肩怒らせて這入りけり

◆ 鏡眼を抜きて冬風となる
ビル四角天守三角初しぐれ

◆ 前田 忠を 選
戦なき世や空濠の草の花

◆ 星永 文夫 選
天守より翼を得たる木の葉散る

◆ 佐藤 艸魚 選
城に生き城に枯れたるいぼむしり

◆ 金沢 富水 選
天守閣登れば阿蘇は霧に浮く

◆ 小川 濤美子 選
流鏑馬の一矢発止と冬に入る

◆ 菊師 いま肥後の掟に添ひ手入れ
火の阿蘇と水の江津湖と秋二つ

◆ 色変へぬ松侍らせて天守閣
開眼の一句が欲しく露とばし

◆ 色鳥のごとく樹林へ入りけり
冬の城肩怒らせて這入りけり

◆ 鏡眼を抜きて冬風となる
ビル四角天守三角初しぐれ

◆ 前田 忠を 選
戦なき世や空濠の草の花

◆ 星永 文夫 選
天守より翼を得たる木の葉散る

◆ 佐藤 艸魚 選
城に生き城に枯れたるいぼむしり

◆ 金沢 富水 選
天守閣登れば阿蘇は霧に浮く

◆ 小川 濤美子 選
流鏑馬の一矢発止と冬に入る

◆ 菊師 いま肥後の掟に添ひ手入れ
火の阿蘇と水の江津湖と秋二つ

◆ 色変へぬ松侍らせて天守閣
開眼の一句が欲しく露とばし

◆ 色鳥のごとく樹林へ入りけり
冬の城肩怒らせて這入りけり

◆ 鏡眼を抜きて冬風となる
ビル四角天守三角初しぐれ

◆ 前田 忠を 選
戦なき世や空濠の草の花

◆ 星永 文夫 選
天守より翼を得たる木の葉散る

◆ 佐藤 艸魚 選
城に生き城に枯れたるいぼむしり

◆ 金沢 富水 選
天守閣登れば阿蘇は霧に浮く

◆ 小川 濤美子 選
流鏑馬の一矢発止と冬に入る

◆ 菊師 いま肥後の掟に添ひ手入れ
火の阿蘇と水の江津湖と秋二つ

◆ 色変へぬ松侍らせて天守閣
開眼の一句が欲しく露とばし

◆ 色鳥のごとく樹林へ入りけり
冬の城肩怒らせて這入りけり

◆ 鏡眼を抜きて冬風となる
ビル四角天守三角初しぐれ

◆ 前田 忠を 選
戦なき世や空濠の草の花

◆ 星永 文夫 選
天守より翼を得たる木の葉散る

◆ 佐藤 艸魚 選
城に生き城に枯れたるいぼむしり

◆ 金沢 富水 選
天守閣登れば阿蘇は霧に浮く

◆ 小川 濤美子 選
流鏑馬の一矢発止と冬に入る

◆ 菊師 いま肥後の掟に添ひ手入れ
火の阿蘇と水の江津湖と秋二つ

◆ 色変へぬ松侍らせて天守閣
開眼の一句が欲しく露とばし

◆ 色鳥のごとく樹林へ入りけり
冬の城肩怒らせて這入りけり

◆ 鏡眼を抜きて冬風となる
ビル四角天守三角初しぐれ

◆ 前田 忠を 選
戦なき世や空濠の草の花

◆ 星永 文夫 選
天守より翼を得たる木の葉散る

◆ 佐藤 艸魚 選
城に生き城に枯れたるいぼむしり

◆ 金沢 富水 選
天守閣登れば阿蘇は霧に浮く

◆ 小川 濤美子 選
流鏑馬の一矢発止と冬に入る

◆ 菊師 いま肥後の掟に添ひ手入れ
火の阿蘇と水の江津湖と秋二つ

◆ 色変へぬ松侍らせて天守閣
開眼の一句が欲しく露とばし

◆ 色鳥のごとく樹林へ入りけり
冬の城肩怒らせて這入りけり

◆ 鏡眼を抜きて冬風となる
ビル四角天守三角初しぐれ

◆ 前田 忠を 選
戦なき世や空濠の草の花

◆ 星永 文夫 選
天守より翼を得たる木の葉散る

◆ 佐藤 艸魚 選
城に生き城に枯れたるいぼむしり

◆ 金沢 富水 選
天守閣登れば阿蘇は霧に浮く

◆ 小川 濤美子 選
流鏑馬の一矢発止と冬に入る

◆ 菊師 いま肥後の掟に添ひ手入れ
火の阿蘇と水の江津湖と秋二つ

◆ 色変へぬ松侍らせて天守閣
開眼の一句が欲しく露とばし

◆ 色鳥のごとく樹林へ入りけり
冬の城肩怒らせて這入りけり

◆ 鏡眼を抜きて冬風となる
ビル四角天守三角初しぐれ

◆ 前田 忠を 選
戦なき世や空濠の草の花

◆ 星永 文夫 選
天守より翼を得たる木の葉散る

◆ 佐藤 艸魚 選
城に生き城に枯れたるいぼむしり

◆ 金沢 富水 選
天守閣登れば阿蘇は霧に浮く

◆ 小川 濤美子 選
流鏑馬の一矢発止と冬に入る

◆ 菊師 いま肥後の掟に添ひ手入れ
火の阿蘇と水の江津湖と秋二つ

◆ 色変へぬ松侍らせて天守閣
開眼の一句が欲しく露とばし

◆ 色鳥のごとく樹林へ入りけり
冬の城肩怒らせて這入りけり

◆ 鏡眼を抜きて冬風となる
ビル四角天守三角初しぐれ

◆ 前田 忠を 選
戦なき世や空濠の草の花

◆ 星永 文夫 選
天守より翼を得たる木の葉散る

◆ 佐藤 艸魚 選
城に生き城に枯れたるいぼむしり

◆ 金沢 富水 選
天守閣登れば阿蘇は霧に浮く

◆ 小川 濤美子 選
流鏑馬の一矢発止と冬に入る

◆ 菊師 いま肥後の掟に添ひ手入れ
火の阿蘇と水の江津湖と秋二つ

◆ 色変へぬ松侍らせて天守閣
開眼の一句が欲しく露とばし

◆ 色鳥のごとく樹林へ入りけり
冬の城肩怒らせて這入りけり

◆ 鏡眼を抜きて冬風となる
ビル四角天守三角初しぐれ

◆ 前田 忠を 選
戦なき世や空濠の草の花

◆ 星永 文夫 選
天守より翼を得たる木の葉散る

くまもとお城まつり

第8回 「草枕」 国際俳句大会 夏目漱石顕彰

「草枕」の玉手箱 ―俳句と俳句イメーシ入賞作品集― (平成15年)

俳句の部・一般部門

「草枕」大賞

阿蘇山は銀河鉄道始発駅

東京都小平市 中空 善彦

日本航空グループ賞

生身魂漱石の書を身ほとりに

福岡県太宰府市 荻野宇多子

JAグループ熊本／熊本県産米品質向上運動本部賞

田植機を自在に女盛りかな

熊本県玉名市 宮田 光子

特選

池田 昭雄 選

アマゾンをは故里とさめ種を詩く

ブラジル 吉田 夏絵

稲畑 汀子 選

民宿の客の量だけわらび採る

三重県四日市市 横山 茂子

岩岡 中正 選

張りつきし髪ひとすじの暑さかな

熊本県鏡町 沖住カオル

有働 亨 選

庖丁を研いでる間の海鼠かな

大分県豊後高田市 為成 央子

大岳水一路 選

露けしや母誕生の年の熔岩

鹿児島県鹿屋市 有園すみえ

鍵和田柚子 選

高千穂の雲と茅の輪を潜りけり

福岡県直方市 佐藤 綺峰

金子 兜太 選

片かげを歩まぬ事を若さとし

静岡県静岡市 中村 梅雪

倉田 紘文 選

花冷えの母の十指を握りしむ

大分県豊後高田市 近藤 七代

首藤 基澄 選

放牧の野ははるか下阿蘇野焼

熊本県熊本市 三浦 綾子

俳句の部・ジュニア部門

「草枕」大賞

小学生の部

クリスマスイルミネーション夜のもの

福岡県花畑小6年 岡 浩之

中学生の部

星空の鏡みたいな夜光虫

熊本県飽田中3年 上村 美穂

高校生の部

冷夏なり農を営む父の皺

熊本県熊本信愛女学院高2年 藪 ひろ子

留学生の部

冬の夜シヨパンの曲聴きひとりぼっち

福岡県福岡女学院大2年 賈 麗偉

日本航空グループ賞

天守閣そびえるさきにいわし雲

熊本県力合中1年 西村 朋子

俳句の部・外国語部門

草枕大賞 Kusamakura Taishou (Grand Prize)

harvest moon
rising over
slow thunder

チャールズ バーナード ロドニング
Charles Bernard Rodning
(アメリカ)

(訳)
仲秋の満月が
昇る
ゆっくりと雷鳴

特選 Tokusen (Second Prize)

◆ 有馬 朗人 選 Selected by Mr. Akito Arima

a cloud
bigger than the sky-
spring longing

ジム ケイシアン
Jim Kacian
(アメリカ)

(訳)
空よりも
大きな雲や
春を待つ

through the hole
in this rusty steel helmet
a glance at the sea

フベルタス トウム
Hubertus Thum
(ドイツ)

(訳)
錆付きし
兜に穴や
海覗く

unable to outrun
moonlight - and
the dragging
horse blanket

ジャニス M
Janice M.
ボストニック
Bostok
(オーストラリア)

(訳)
追ひ付けぬ
月に毛布を
引く馬に

going nude -
a summer hat left
on the head

ゼン ユウ1 ホッタ
Zen-U L. Hotta
(日本・東京都)

(訳)
脱ぎ終へし
裸ん坊の
夏帽子

◆ 西川 盛雄 選 Selected by Mr. Morio Nishikawa

<p>From long icicles under eaves of cottage small suns are dripping</p> <p>パヴル アジヤンスキー Pavle Adjanski (セルビア・モンテネグロ)</p>	<p>(訳) 小屋の軒下 長く垂れ下がった氷柱から 落ちてくる 小さな太陽のいくつ</p>	<p>the fallen leaf continues its journey - on the river</p> <p>フェイ オニール Fay O'Neill (オーストラリア)</p>	<p>(訳) 落ち葉が 落ちてなお旅をつづける… 川の上</p>
<p>crecent the daybreak brims the horizon on a seagull's beak</p> <p>伊藤 裕起 (日本・熊本県)</p>	<p>(訳) 弦月 夜明けが水平線に満ちて来る 海鳥の嘴に</p>	<p>a silver fish caught in the moonlight silent ripples</p> <p>アレン マクギル Allen McGill (メキシコ)</p>	<p>(訳) 銀色の魚が 月光に捕まって なお さざなみの静けさ</p>

◆ リチャード ギルバート 選 Selected by Mr. Richard Gilbert

<p>bend on the river a balsam flower dips with the weight of a bee</p> <p>フィリップ マレル Phillip Murrell (イギリス)</p>	<p>(訳) 鳳仙花が 蜜蜂の重さで 川面に垂れて</p>	<p>journey over the front gate lock still broken</p> <p>アレン マクギル Allen McGill (メキシコ)</p>	<p>(訳) 旅の終わりに 玄関の錠前が 壊れたまま</p>
<p>last night's rain keeps a cherry petal on the shell of a snail</p> <p>サラフィナ Sarafina ナザンスキー Nazansky (クロアチア)</p>	<p>(訳) 昨夜の雨 蝸牛の殻の上に 桜の花びらがひとつ</p>	<p>Brilliant red circle of spilled sun sipping tide.</p> <p>マシャ ハンビッチ Maša Bambić (クロアチア)</p>	<p>(訳) 真っ赤に溢れ出た 太陽の環が耀いて 時の流れを囁っている</p>

- ◆ 池田 昭雄 選
少年の目をして瓢の笛を吹く
熊本県熊本市 坂本あかり
- ◆ 岩岡 中正 選
冷やし牛水踏みつけて上りけり
熊本県熊本市 荒牧 成子
- ◆ 大岳水一路 選
鱒雲村二分してダム賛否
熊本県熊本市 戸田 善藏

大会三日投句



●「草枕」大賞

<p>瓢の笛吹いて大志を抱きけり 熊本県西合志町 山崎ルリ子</p> <p>種田山頭火賞 秋水の金の水輪のひろがれり 福岡県大牟田市 古賀 紀子</p>	<p>●「草枕」大賞 城小春ころ順路に従はず 熊本県熊本市 上須崎ゆたか</p> <p>城大樹瘤隆々と冬に入る 熊本県熊本市 つのだともこ</p> <p>日本晴城の過客に木の実降る 熊本県熊本市 竹下ツタエ</p> <p>◆ 前田 忠を 選 噓して漱石の髭動く秋 熊本県砥用町 山田 節子</p> <p>一日の余白に城の秋惜む 熊本県西合志町 山崎ルリ子</p> <p>石垣を曲れば変わる秋の風 福岡県直方市 水上 翠人</p>	<p>●「草枕」大賞 城の秋惜しまむ祖母のつむぎ着て 熊本県城南町 高橋 満子</p> <p>天守閣雁の高さに江津光る 熊本県熊本市 宮崎 勸</p> <p>草もみじ雲なき城の高さかな 熊本県矢部町 濱田 洋子</p> <p>◆ 金沢 富水 選 幾戦禍経し大銀杏薄黄葉 熊本県熊本市 野口 南枝</p> <p>十人が十人リュック天高し 熊本県熊本市 内藤 悦子</p> <p>清正の背の緑青や初紅葉 熊本県熊本市 佐竹 浩一</p> <p>◆ 佐藤 艸魚 選 秋天を跳ね上げてゐる天守閣 大分県三重町 川野 智子</p> <p>城垣に撥ね返されてゐる秋日 熊本県熊本市 嶋田 光子</p> <p>ふりむきて人の居らざる秋の風 熊本県熊本市 上須崎かつ美</p> <p>◆ 星永 文夫 選 城小春ころ順路に従はず 熊本県熊本市 上須崎ゆたか</p> <p>城大樹瘤隆々と冬に入る 熊本県熊本市 つのだともこ</p> <p>日本晴城の過客に木の実降る 熊本県熊本市 竹下ツタエ</p> <p>◆ 前田 忠を 選 噓して漱石の髭動く秋 熊本県砥用町 山田 節子</p> <p>一日の余白に城の秋惜む 熊本県西合志町 山崎ルリ子</p> <p>石垣を曲れば変わる秋の風 福岡県直方市 水上 翠人</p>	<p>●「草枕」大賞 長堀の冬へ一直線の白 熊本県熊本市 山澄 陽子</p> <p>中村汀女賞 城しづか冬日しづかにかしこまる 熊本県熊本市 西 美愛子</p> <p>●特選 ●小川濤美子 選 城の秋惜しまむ祖母のつむぎ着て 熊本県城南町 高橋 満子</p> <p>天守閣雁の高さに江津光る 熊本県熊本市 宮崎 勸</p> <p>草もみじ雲なき城の高さかな 熊本県矢部町 濱田 洋子</p> <p>◆ 金沢 富水 選 幾戦禍経し大銀杏薄黄葉 熊本県熊本市 野口 南枝</p> <p>十人が十人リュック天高し 熊本県熊本市 内藤 悦子</p> <p>清正の背の緑青や初紅葉 熊本県熊本市 佐竹 浩一</p> <p>◆ 佐藤 艸魚 選 秋天を跳ね上げてゐる天守閣 大分県三重町 川野 智子</p> <p>城垣に撥ね返されてゐる秋日 熊本県熊本市 嶋田 光子</p> <p>ふりむきて人の居らざる秋の風 熊本県熊本市 上須崎かつ美</p> <p>◆ 星永 文夫 選 城小春ころ順路に従はず 熊本県熊本市 上須崎ゆたか</p> <p>城大樹瘤隆々と冬に入る 熊本県熊本市 つのだともこ</p> <p>日本晴城の過客に木の実降る 熊本県熊本市 竹下ツタエ</p> <p>◆ 前田 忠を 選 噓して漱石の髭動く秋 熊本県砥用町 山田 節子</p> <p>一日の余白に城の秋惜む 熊本県西合志町 山崎ルリ子</p> <p>石垣を曲れば変わる秋の風 福岡県直方市 水上 翠人</p>
--	--	---	---

ジュニアの俳句と絵部門

●「草枕」大賞

あさがおの
つるはうちゆうへ
つづいてる
(植田凌雅句)
熊本県出水南中2年
隈元菜津美

夏の空
雨雲の
されまにのぞく
熊本県麦島小5年
米田 聖

俳画部門

●「草枕」大賞

石人の乳房豊かや大夕焼
(内藤悦子句)
熊本県熊本市 本田由美子



●倉田 絃文 選
漱石の録音テープ小鳥来る
熊本県熊本市 中嶋 富恵

◆ 坊城 俊樹 選
秋天の真ん中を舐め肥後の牛
大分県三重町 川野 智子

第9回「草枕」国際俳句大会 夏目漱石顕彰

「草枕」の玉手箱 ―俳句と俳句イメージ入賞作品集― (平成16年)

俳句の部・一般部門

「草枕」大賞

阿蘇は万緑赤ん坊は大欠伸 大阪府豊中市 宇井 久

日本航空グループ賞

母の日やイエスにマリア釈迦に摩耶 熊本県熊本市 荒牧 成子

JAグループ熊本／くまもと売れる米づくり推進本部賞
火の国の牛の乳濃し銀河濃し 熊本県熊本市 後藤 博文

福井市賞

搾乳や朝の霏から閑古鳥 熊本県益城町 齊藤 亀夫

特選

池田 昭雄 選

少年の覗く地球や蟬の穴 熊本県熊本市 吉井みつこ

稲畑 汀子 選

春泥に転びて笑ふほかはなし 神奈川県寒川町 阿部 愷堂

岩岡 中正 選

人を愛して白靴の軽きこと 大分県大分市 中尾 豊子

大岳水一路 選

象の糞ゆたかに園児らの五月 富山県高岡市 新保 吉章

鍵和田袖子 選

髭にある明治の匂ひ漱石忌 大阪府羽曳野市 柏樹 有閑

金子 兜太 選

向日葵やぐんぐん伸びし成績簿 三重県明和町 中西 義嗣

倉田 紘文 選

流燈のいつもの堰で振り返る 東京都三鷹市 小泉 秀夫

◆首藤 基澄 選

搾乳や朝の霏から閑古鳥 熊本県益城町 齊藤 亀夫

◆坪内 稔典 選

集れば月の出る迄肥後なまり ブラジル 道田マサエ

◆寺井 谷子 選

せつせつと母体瘦せゆきかき氷 東京都渋谷区 星埜 一彦

◆坊城 俊樹 選

泳がない兄が家鴨を抱いてくる 福井県福井市 塩谷三都子

俳句の部・ジュニア部門

「草枕」大賞

小学生の部

秋風が木の葉に色をぬっている 熊本県画図小学校5年 光永 綾音

中学生の部

びろうどの羽広げ立つ羽化の蝶 熊本県東部中学校3年 上田 一雄

高校生の部

優勝旗津軽を越えて夏終る 熊本県熊本高等学校1年 丸山 功祐

留学生の部

青い夏故里の海歌つてる 福岡県福岡女学院大学2年 周 琪

日本航空グループ賞

ひこうきに一人でのつた夏休み 千葉県緑町小学校3年 高澤 覚

俳句の部・外国語部門

草枕大賞 Kusamakura Taishou (Grand Prize)

(訳)

Flying nowhere-
black birds appearing out
of the painter's brush.

マリアン ニコラエ トミ
MARIAN NICOLAE TOMI
(ルーマニア)

何処を飛ぶわけでもない―
画家の絵筆の先から
姿を現した黒つぐみ

特選 Tokusen (Second Prize)

◆西川 盛雄 選 Selected by Mr. Morio Nishikawa

unreadable
the firefly's signature
on the night sky

ジョルゲン
Jorgen
ヨハンソン
Johansson
(スウェーデン)

(訳)
読めないのです
蛍の署名が
夜空の宙に描かれて

An eagle and its shadow
overtake each other
at the top of a rock.

ミレンコ
Milenko D.
キロボビッチ
Cirović
ルチキ
Ljutićki
(セルビア・モンテネグロ)

(訳)
鷲とその影
襲い合って
断崖の上

Sustigose se
orao i sjenka mu
na vrh stijene.

open sea
a gull flies over from one
to another blueness

ラドバン
Radvan
イワノビッチ
Živanović
(セルビア・モンテネグロ)

(訳)
ひろびろとした海
海鳥が翔ぶ
青から青へ

Able spider
catches the moon
in silk web.

ビルマ アントリーナ
Vilma Antolina
レコダー
Recoder
(アルゼンチン)

(訳)
腕利きの蜘蛛が
絹糸の巣を張って
月を掴まえる

Hábil araña
aprisiona la luna
en red de seda

◆ リチャード ギルバート 選 Selected by Dr. Richard Gilbert

distant osprey...
the air
between us

ロバート バウアー
Robert Bauer
(アメリカ)

(訳)
はるかなミサゴ
我らの間の
大気

distant fireworks-
the red amaryllis
about to open

イングリッド
Ingrid
クンシュケ
Kunschke
(ドイツ)

(訳)
遠くの花火
赤いアマリリスが
咲き零れます

A bunch of roses
scattered on the floor -
victims
of an endless war.

ジョセット アタード
Josette Attard
(マルタ)

(訳)
床に散らばった薔薇
果てしなき戦火の
犠牲者たち

washed up by the sea
shimmering in summer sun
a sold'r's canteen

ホルスト ルードヴィッヒ
Horst Ludwig
(ドイツ)

(訳)
波に洗われて
夏の日差しに光る
兵士の水筒

- ◆ 夜神楽や鈿女に太き喉仏
熊本県熊本市 利光 釈郎
- ◆ 大岳水一路 選
熊本県熊本市 佐々佐和子
- ◆ 石人に臍らしきもの木の実落つ
熊本県熊本市 木庭布左江
- ◆ 岩岡 中正 選
熊本県熊本市 山内 昌
- ◆ 吊橋に大秋晴を揺らしけり
熊本県熊本市 水田 絹子
- ◆ 池田 昭雄 選
熊本県熊本市 松本 照子
- ◆ 種田山頭火賞
熊本県熊本市 西 美愛子
- ◆ 霧草の空を濡らしてをりにけり
熊本県熊本市 西 美愛子
- ◆ 特選
- ◆ 「草枕」大賞
むかご採る真青な空を引つ張つて
熊本県熊本市 高本よしえ

- ◆ 大金三口投句
城郭の深井へ吸はる楡紅葉
熊本県熊本市 高本よしえ
- ◆ 星永 文夫 選
軍艦のやうな鉄骨城の秋
熊本県荒尾市 坂田 淑子
- ◆ 野田 遊三 選
宝曆の鬼門の隅に鳴くちちろ
熊本県熊本市 松本 照子
- ◆ 天守閣すつくと冬の立ちにけり
熊本県熊本市 高本よしえ
- ◆ 阿蘇の嶺々指呼の間にして天守閣
熊本県宇土市 井上 松雄
- ◆ 秋空へ廻りたる飯田丸
熊本県熊本市 中村介伊子
- ◆ 身に入むや城に人質部屋の跡
熊本県天水町 生田 苑子
- ◆ 金沢 富水 選
肥後菊の万蕾の勢城に充つ
熊本県熊本市 西 美愛子
- ◆ 鏡眼の蟻螂風に斧を上ぐ
熊本県熊本市 西 美愛子
- ◆ 小川濤美子 選
デジカメの狙ふは天守秋たかし
熊本県熊本市 高本よしえ
- ◆ 中村汀女賞
初しぐれ石の鋭角和みたり
熊本県熊本市 西 美愛子
- ◆ 特選
- ◆ 「草枕」大賞
銃眼の奥が見たくて鳴くちちろ
熊本県熊本市 松本 照子

- ◆ 吟行投句
音たて、空の破る、芭蕉林
熊本県熊本市 木庭布左江
- ◆ 坪内 稔典 選
座礁船たとえば冬のお城とか
熊本県玉名市 山村 恵子
- ◆ 寺井 谷子 選
紅葉して折々捨てしものはるか
熊本県熊本市 汀 圭子
- ◆ 倉田 紘文 選
音たて、空の破る、芭蕉林
熊本県熊本市 木庭布左江
- ◆ 坪内 稔典 選
座礁船たとえば冬のお城とか
熊本県玉名市 山村 恵子
- ◆ 寺井 谷子 選
紅葉して折々捨てしものはるか
熊本県熊本市 汀 圭子



菓子のこと父を恋ふこと地虫鳴く
(中村汀女句)
熊本県益城町 東 靖子

俳画部門
「草枕」大賞



我さそう声か聞こえる遠花火
愛知県安城西中学校3年 大田 恵己



夕立ちがいろんな命輝かす
熊本県麦島小学校6年 松元 利愛

「草枕」大賞
ジュニアの俳句と絵部門

第10回 夏目漱石顕彰「草枕」国際俳句大会 記念大会特別号

「草枕」の玉手箱 ―俳句と俳句イメージ入賞作品集― (平成17年)

俳句の部・一般部門

「草枕」大賞

祭笛酔をうつ飯のかがやけり 福岡県田川市 蔵本はるの女

第10回記念大会特別賞 黛まどか賞

少女より少年泣けり卒業歌 神奈川県大和市 平綿 涼風

日本航空グループ賞

男の器量城は万緑の上 熊本県熊本市 宮崎 勸

J Aグループ熊本／くまもと売れる米づくり推進本部賞

小説に門あり風の漱石忌 東京都小平市 鈴木三光子

福井市賞

小鳥来る巣箱のやうな投句箱 愛知県岡崎市 水野 幸子

特選

池田 昭雄 選

阿蘇ボーイ別れの汽笛花芒 福岡県筑後市 廣瀬 保行

今井千鶴子 選

呼ぶ鶴も応ふる鶴も天に向く 埼玉県さいたま市 前田 虹雨

岩岡 中正 選

いま開く刃のにおいして櫻 熊本県熊本市 藤井眞理子

大岳水一路 選

大阿蘇の水を力に稲育つ 神奈川県茅ヶ崎市 岡田 貞二

鍵和田袖子 選

呼ぶ鶴も応ふる鶴も天に向く 埼玉県さいたま市 前田 虹雨

金子 兜太 選

農学ぶ帰省子大地の子となりぬ ブラジル 佐藤あさ乃

倉田 紘文 選

みどり児の手足のばして小春かな 大分県大分市 猪原アヤ子

首藤 基澄 選

風に舞ふ神楽の里の花薄 熊本県熊本市 本田 皓靖

坪内 稔典 選

抜花や肥後もつこすは親ゆずり 熊本県菊池市 平山 邦子

寺井 谷子 選

癌飼つて即天去私の昼寝かな 群馬県藤岡市 山口 花城

坊城 俊樹 選

暁々と阿蘇の山唄月夜かな 福島県いわき市 齊藤 正

俳句の部・ジュニア部門

「草枕」大賞

小学生の部

青あらしこの森みんな生き返る 千葉県大富小学校3年 今井 千景

中学生の部

駒ヶ岳大雪溪を抱えけり 千葉県新箱中学校3年 喜多 美幸

高校生の部

天国で祖父が見ている大試験 熊本県開新高等学校1年 坂本 良樹

留学生の部

霧雨や小さく見える山の峰 富山県富山大学聴講生 朱 英双

日本航空グループ賞

富士山の真上を飛んだ夏の旅 熊本県城西小学校6年 谷口ともみ

第10回記念大会特別賞

盆おどりたいこたたくと輪が太る 神奈川県鶴尾小学校2年 阿部はる奈

俳句の部・外国語部門

「草枕」大賞 Kusamakura Taishou (Grand Prize)

thunder
the roses shift
into shadow

ロベルタ ベアリー
Roberta Beary
(アメリカ)

(訳)
落雷に
薔薇の花が
影と化す

第10回記念大会特別賞 10th Memorial Contest Special Prize

noon::
a fish skeleton
curled among rocks

ティモシー ラッセル
Timothy Russell
(アメリカ)

(訳)
真昼間::
魚の化石の骨が
岩間に巻きついて

●● 特選 Tokusen (Second Prize)

◆ 西川 盛雄 選 Selected by Mr. Morio Nishikawa

ripening wheat through fast moving wipers a rainbow (訳) 熟れた小麦畑 早送りのワイパーの 隙間に見える虹ひとつ (スロベニア)

Firefly flickers by - here...there...on...off... gone... leaves me staring into dark. (訳) 蛍がピカリと あつち こつち 光ったり 消えたり 飛び去って 取り残されて闇を見る (ニュージーランド)

erasing a leaf from my sketch of the oak - the season draws on (訳) Michael McClintock (アメリカ)

Into the mirror Clouds draw their bow very low The Sunny arrow (訳) Tatiana Platova (日本・徳島県)

◆ リチャード ギルバート 選 Selected by Dr. Richard Gilbert

dusting off a trail map: the edge of winter (中国) (訳) Paul Pfeuger, Jr. 地図の埃を払って: 冬の 切れ味

starlit surf a horseshoe crab flips itself (訳) Peggy Willis Lyles (アメリカ)

sunrise-- a caterpillar eats through shadows (アメリカ) (訳) Robert John Mestre 日の出に-- 毛虫が獲物を食べて 影となる

swinging up to the moon on half a car tyre (オーストラリア) (訳) Ross Clark 月に向かってブランコ 車のタイヤの半弧の上で

◆ 池田 昭雄 選 城普請真つ只中に散る銀杏 熊本県西合志町 高群美和子

◆ 特選 盛り過ぎなほ肥後菊でありにけり 熊本県熊本市 松尾すよ子

●● 「草枕」大賞 霜柱ざくりと阿蘇に入りにつけり 熊本県熊本市 村上 惟輝

●● 種田山頭火賞 後ろから人迫り来る夕落葉 熊本県熊本市 南野 幸子

●● 第10回記念大会特別賞 盛り過ぎなほ肥後菊でありにけり 熊本県熊本市 松尾すよ子

●● 特選 城普請真つ只中に散る銀杏 熊本県西合志町 高群美和子

●● 「草枕」大賞 霜柱ざくりと阿蘇に入りにつけり 熊本県熊本市 村上 惟輝

●● 種田山頭火賞 後ろから人迫り来る夕落葉 熊本県熊本市 南野 幸子

●● 第10回記念大会特別賞 盛り過ぎなほ肥後菊でありにけり 熊本県熊本市 松尾すよ子

●● 特選 城普請真つ只中に散る銀杏 熊本県西合志町 高群美和子

●● 「草枕」大賞 霜柱ざくりと阿蘇に入りにつけり 熊本県熊本市 村上 惟輝

●● 種田山頭火賞 後ろから人迫り来る夕落葉 熊本県熊本市 南野 幸子

●● 第10回記念大会特別賞 盛り過ぎなほ肥後菊でありにけり 熊本県熊本市 松尾すよ子

●● 特選 城普請真つ只中に散る銀杏 熊本県西合志町 高群美和子

ジュニアの俳句と絵部門

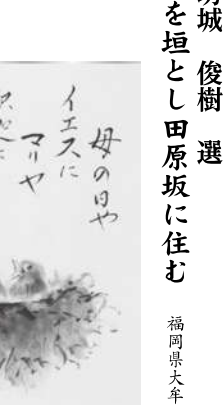
●● 「草枕」大賞 風の中 おくらのつばやき 熊本県本荘小学校3年 高廣 光



あぜ道を とびこえながら 感じる夏 野中 めい

俳画部門

●● 「草枕」大賞 母の日やイエスにマリア 秋迎に摩耶 (荒牧成子句) 熊本市益城町 東 靖子



◆ 今井千鶴子 選 縹雲ぐらりと天守動きけり 熊本県熊本市 利光 秋郎

◆ 岩岡 中正 選 愛されし昔むかしや林檎焼く 熊本県熊本市 南野 幸子

◆ 大岳水一路 選 破芭蕉空のほころびふやしけり 鹿児島県鹿児島市 瀬戸 清子

◆ 鍵和田柚子 選 朴落葉夜は弥陀仏の歩ゆむ音 熊本県熊本市 宮崎 勲

◆ 倉田 紘文 選 小春日や縁に二つの小座布団 熊本県大津町 竹田津温子

◆ 坪内 稔典 選 さうだからポインセチアといふ仕掛け 熊本県菊陽町 上田 輝子

◆ 坊城 俊樹 選 木犀を垣とし 田原坂に住む 福岡県大牟田市 坂井 和子

第11回 夏目漱石顕彰「草枕」国際俳句大会「草枕」発表100年記念大会

「草枕」の玉手箱 ―俳句と俳句イメージ入賞作品集― (平成18年)

俳句の部・一般部門

「草枕」大賞

九州の男梅雨とはかくありし 熊本県熊本市 山澄 陽子

日本航空賞

考へて百年たちぬ漱石忌 熊本県熊本市 池田三千代

JAグループ熊本／くまもと売れる米づくり推進本部賞
夕映えの掛稲並ぶ往診路 熊本県八代市 持永 恵山

福井市賞

かくれんぼ芒になつてしまひけり 福岡県福岡市 佐藤 都

松山市賞／「坊っちゃん」発表100年記念特別賞
今年竹伸びよ天意に叶ふまで 熊本県熊本市 江島 敏子

特選

池田 昭雄 選

今もなほ住みにくき世や漱石忌 熊本県熊本市 松永 力蔵

今井千鶴子 選

阿蘇牛の食みこぼしたる草紅葉 熊本県玉名市 村上 重夫

岩岡 中正 選

殉教の海をあをと袋掛 熊本県熊本市 利光 秋郎

大岳水一路 選

武蔵野の風懐に今朝の秋 埼玉県ふじみ野市 三瓶 政喜

鍵和田柚子 選

鬱と言う文字の深さや漱石忌 東京都品川区 田中 隆

金子 兜太 選

てのひらに赤飯欲しがる生身魂 三重県四日市市 横山 茂子

倉田 紘文 選

歩を合すだけの介護や小鳥くる 大分県大分市 森田 里華

首藤 基澄 選

阿蘇山のふところ広し稲筵 熊本県菊陽町 吉野 早苗

俳句の部・ジュニア部門

「草枕」大賞

小学生の部

大文字ご先ぞさまをおもい出す 千葉県緑町小学校1年 菅 研吾

中学生の部

ひらひらと手のひらかえす盆踊り 熊本県熊本マリスト学園中学校3年 中村 真純

高校生の部

かまきりは生まれながらに学者顔 熊本県熊本信愛女学院高等学校3年 川口玲央奈

留学生の部

中秋節母の涙と空の月 大阪府大阪外国語大学 孟 范洪

日本航空賞

大雪がふる中働くおじいちゃん 熊本県河内小学校6年 中村 真介

俳句の部・外国語部門

「草枕」大賞 Kusamakura Taishou (Grand Prize)

(訳)
天の赤道
カヤックを漕ぐ
黄昏の両側

equinox
kayak paddling
two sides of dusk

トーマス ヘフアーナン
Thomas HEFFERNAN
(アメリカ)

特選 Tokusen (Second Prize)

西川 盛雄 選 Selected by Mr. Morio Nishikawa

City wall.
The ivy sends new sprouts
through the arrow slit.
フォルカー フリーベル
Volker Friebel
(ドイツ)

(訳)
町の城壁
蔦が穴穴を通して
新しく芽吹きます

dragonfly darts
reed tip trembles
with his absent beauty
レスリー ギデンズ
Leslie Giddens
(英国)

(訳)
蜻蛉が飛び去った利那
葦の先が震え
その姿なき名残の美しさ

the setting sun -
a jumping frog and
its shadow
unite in the water

ジェリカ
Zeljka
フチニツチ
Vucinic-
ジャンプレシツク
Jambresic
(クロアチア)

(訳)
夕焼けの太陽―
跳びこむ蛙とその影が
水面に落ちて一つとなる

a fossil -
transience left its tracks
in the stone
ヴィエコスラフ
Vjekoslav
ロミツク
Romich
(クロアチア)

(訳)
化石―
石中の痕跡に
はかなさを残して

◆ リチャード ギルバート 選 Selected by Dr. Richard Gilbert

the end before the end September rain	ジム ケイシヤン Jim Kacian (アメリカ)	(訳) 終わりの前の終わり 9月の雨	The creek murmurs over the millstone white cobweb.	ドゥシャン ルジック Dusan Ruziic (セルビア)	(訳) 小川がさらさらと流れ 石白の上に 白い蜘蛛の巣
City wall. The ivy sends new sprouts through the arrow slit.	フォルカー フリーベル Volker Friebel (ドイツ)	(訳) 町の城壁 蔦が矢穴を通して 新しく芽吹きます	The Sun sprang up. A sunflower moved For an ant foot.	リリヤナ クリスティッチ Ljiljana Krstic (セルビア)	(訳) 太陽が現れて 向日葵が動く 蟻んこの歩みに

- 吟行投句**
- 「草枕」大賞
- 百年の隙間風あり漱石居 熊本県熊本市 高野よしとか
 - 中村汀女賞
 - 築城の慶事待ちるる冬木の芽 熊本県熊本市 工藤 靖子
 - 特選
 - 小川瀧美子 選
 - 冬天へ日ざし蹴り上げ天守閣 熊本県熊本市 西 美愛子
 - 天守閣霽れて磔地に枯るる 熊本県熊本市 利光 积郎
 - 城小春天守に雲をあそばせて 熊本県熊本市 江島 敏子
 - 金沢 富水 選
 - 戸障子に明治の名残漱石居 熊本県熊本市 高野よしとか
 - 大銀杏紆余曲折を見てきたり 熊本県熊本市 西村 孝子
 - 城垣の隙間に宿るハゼ紅葉 熊本県熊本市 上杉 タツ
 - 佐藤 艸魚 選
 - 城郭の石塊一つまでも冬 熊本県熊本市 山澄 陽子
 - 肥後菊の影また秩序正したる 熊本県熊本市 増田いと子
 - 朴落葉踏んで大きな地球かな 熊本県熊本市 荒牧 成子
 - 野田 遊三 選
 - 身震ひてより散り急ぐ木の葉かな 熊本県熊本市 若宮 瑞穂
 - 満身を埋めむばかり楯紅葉 熊本県熊本市 松本 照子
 - 摺り足で渉る回廊紅葉冷 熊本県熊本市 谷 喜美子
 - 星永 文夫 選
 - 城内の余白に草の絮飛ばす 熊本県熊本市 宮川ゆきえ
 - 小春日の城壁の底歩きけり 熊本県熊本市 梅津真佐子
 - 城垣の隙間をつめて冬に入る 熊本県宇上市 井上 松雄
- 大金三三投句**
- 「草枕」大賞
- 湧水のふくらみて冬うららなる 福岡県大牟田市 古賀 紀子
 - 種田山頭火賞
 - 何の木でなく紅葉の木黄葉の木 熊本県熊本市 武藤 たみ
 - 「草枕」発表百年記念特別賞
 - 漱石忌人育みし明治あり 熊本県合志市 坂田美代子
 - 特選
 - 相原左義長 選
 - 火口冷ゆ背へくる風を恐れつつ 熊本県熊本市 下城 正臣
 - 池田 昭雄 選
 - 冬とまだ気付かぬ薔薇の香を放つ 熊本県熊本市 山澄 陽子

- ◆今井千鶴子 選
- 海光の届く限りの蜜柑山 熊本県熊本市 丸山ゆきこ
- ◆岩岡 中正 選
- お天守に呼ばれてのぼる小春かな 熊本県合志市 坂田美代子
- ◆大岳水一路 選
- 城の威をふはりとつつむ菊日和 熊本県熊本市 水田 絹子
- ◆倉田 紘文 選
- ひとひらに一つのいのち木の葉舞ふ 熊本県合志市 山崎 盛祥
- ◆寺井 谷子 選
- 肥後菊のやうな一句を目差すなり 熊本県熊本市 久保 武雄



バラ散るや己がくづれし音の中
熊本県菊陽町 河津 恵子

ジュニアの俳句と絵部門 ●「草枕」大賞



入道雲空に元気な力こぶ
熊本県銭塘小学校4年 家郷 里翔



夏の空小さく見えた我が校舎
熊本県出水南中学校3年 増田祐理子

夏目漱石顕彰 第12回 「草枕」 国際俳句大会 熊本城築城400年記念大会

「草枕」の玉手箱 ―俳句と俳画入賞作品集― (平成19年)

俳句の部・一般部門

「草枕」大賞

帰省子の一日城に遊びけり

熊本県熊本市 若宮 瑞穂

日本航空賞

玉虫の翅とじてゐる寂光土

福岡県大牟田市 河野てる代

熊本城築城400年記念特別賞

くろがねの城立ち上がる喜雨の中

愛知県蒲郡市 三浦二三子

JAGグループ熊本／くまもと売れる米づくり推進本部賞

花散つて小さな村にもどりけり

熊本県熊本市 丸山 國子

福井市賞

夏の鯉男の貌で泳ぎ来る

熊本県熊本市 荒牧 成子

特選

今井千鶴子 選

銀漢や城はしづかに仰ぐもの

熊本県熊本市 光永 忠夫

岩岡 中正 選

虹立つとずぶ濡れの子に呼ばれけり

熊本県益城町 上田 春日

宇多喜代子 選

大夏野総身風となり歩く

熊本県合志市 坂田美代子

大岳水一路 選

大夕立校歌の山を洗いけり

三重県四日市市 横山 茂子

鍵和田袖子 選

渡りくる鶴をまぶしみ嫁ぐなり

熊本県熊本市 近藤ひかる

倉田 紘文 選

秋簾深く垂らして城下町

熊本県熊本市 大坪 祐子

俳句の部・ジュニア部門

「草枕」大賞

小学生の部

神様が現れそうな雲の峰

熊本県桜井小学校5年 上原 大貴

高校生の部

人生はどうかになるさ翳雲

熊本県熊本信愛女学院高等学校1年 小幡 彩子

日本航空賞

晴れた空蟬の鳴き声聞く古城

熊本県楠小学校3年 福島 由夏

熊本城築城400年記念特別賞

蟬の殻四百年のお城の木

熊本県菊陽北小学校4年 佐藤 航

俳句の部・外国語部門

「草枕」大賞 Kusamakura Taishou (Grand Prize)

(訳)
東雲に
漁船が帰路につく
最後の汽笛鳴らして

Near dusk --
the sound of the last
fishing boat.

アレクシス ロテラ
Alexis Rotella
(アメリカ)

特選 Tokusen (Second Prize)

西川 盛雄 選 Selected by Mr. Morio Nishikawa

early morning
a heron steps into
its reflection

(訳)
早朝のひと時
鷺が水面に映る水からの
影に入りゆく

Sleepwalking moon
ambushed in clouds
spies on a cricket.

(訳)
雲に隠れて
動く月の光が
蟋蟀をそっと見張っている
(アルゼンチン)

One big puff and POOF!
Drift freely, a new journey
Dandelion seeds

(訳)
一吹き大きくフッフと吹く!
宙に漂って新しく
旅の途につく蒲公英の種
いくつ
(日本・岐阜県)

daybreak
lilies light
the light

(訳)
夜明け
百合の光があたりの光を
明るくする
(アメリカ)

◆ リチャード ギルバート 選 Selected by Dr. Richard Gilbert

<p>width of a leaf between us and autumn</p> <p>ジョン スティーブンソン John Stevenson (アメリカ)</p>	<p>(訳) 我らと秋の狭間にある一枚の 葉っぱの幅</p>	<p>Sleepwalking moon ambushed in clouds spies on a cricket.</p>	<p>(訳) 雲に隠れて 動く月の光が 蟋蟀をそっと見張っている</p> <p>ビルマ アントリナ Vilma Antolina レコーダー Recorder (アルゼンチン)</p>
<p>early morning a heron steps into its reflection</p> <p>バーバラ ストラング Barbara Strang (ニュージーランド)</p>	<p>(訳) 早朝のひと時 鷺が水面に映る水からの 影に入りゆく</p>	<p>daybreak lilies light the light</p>	<p>(訳) 夜明け 百合の光があたりの光を 明るくする</p> <p>ロベルタ Roberta ベアリー BEARY (セルビア)</p>

吟行投句部門

大会当日投句部門

●● 「草枕」大賞
城落葉父恋ふときは深く踏む 熊本県熊本市 利光 釈郎

●● 中村汀女賞
冬晴や巻き戻されし城絵巻 熊本県熊本市 山澄 陽子

●● 熊本城築城400年記念特別賞
冬空に城は己を失はず 熊本県熊本市 丸山ゆきこ

●● 特選
肥後菊の掟正しく枯れゆける 熊本県荒尾市 大川内みのる

●● 井芹眞一郎 選
人声の過ぎて振り向く冬董 熊本県熊本市 大即 和枝

●● 小川瀧美子 選
大冬木四百年の力瘤 熊本県熊本市 高野よしとか

●● 秋深し城の歴史の歩せば湧く 熊本県熊本市 園田 淑子

●● 城壁にむらさき深き冬木影 熊本県熊本市 中村 康子

●● 走り根に冬の日洪し漱石居 熊本県熊本市 吉井みつこ

●● 近藤ひかる 選
錦秋の城となりたる日和かな 熊本県熊本市 佐藤 禎子

●● 冬草を踏めば応へる力あり 熊本県熊本市 二木 恵子

●● 群がつて菊師の話聴ひてをり 熊本県熊本市 南野 幸子

●● 野田 遊三 選
中天に日のある安堵浮寝鴨 熊本県熊本市 利光 釈郎

●● 一片の鱗こぼさず鱗雲 熊本県熊本市 中嶋 富恵

●● 陽に燃ゆる天守閣へ迫まる蒿紅葉 熊本県熊本市 松本 照子

●● 星永 文夫 選
お天守の霽れて市電の窓小春 熊本県熊本市 松村 葉子

●● 鷓鴣いて漱石の髭びくりとす 熊本県熊本市 水田 絹子

●● 火の修羅を浴びたる城の返り花 熊本県合志市 村田 正三

●● 種田山頭火賞
先生と呼んで親しき漱石忌 熊本県熊本市 中嶋 富恵

●● 特選
今井千鶴子 選
百枚の障子開け放ちて一人 熊本県熊本市 青島 玄武

●● 岩岡 中正 選
鴨の陣昼のかたちとなりけり 熊本県熊本市 荒牧 成子

●● 大岳水一路 選
鴨自由大きく使ふ空と湖 熊本県熊本市 丸山ゆきこ

●● 倉田 絃文 選
小春日の水方円の江津湖かな 福岡県大牟田市 古賀 紀子

●● 寺井 谷子 選
言の葉のいくつを重ねればもみぢ 熊本県熊本市 武藤 たみ

●● 松永 唯道 選
走り根の下に走り根大冬木 熊本県熊本市 つのだともこ

俳画部門

●● 「草枕」大賞



麦秋の島々すべて呼ぶ如し (汀女句)

熊本県菊陽町 河津 恵子

夏目漱石顕彰 第13回 「草枕」 国際俳句大会

「草枕」の玉手箱 ―俳句と俳画入賞作品集― (平成20年)

俳句の部・一般部門

「草枕」大賞

星飛んで阿蘇に子牛の産れけり 大分県大分市 渡辺 節子

日本航空賞

アマゾン地球の大河天の川 熊本県菊陽町 渡邊佳代子

JAGグループ熊本くまもと売れる米づくり推進本部賞
草笛を誰かが吹いて日を落とす 熊本県熊本市 島田眞理子

福井市賞

雲海の底びしよぬれの列車発つ 熊本県熊本市 佐藤 禎子

地下水都市・熊本賞

不知火や俄に冥きくらしの灯 熊本県荒尾市 大川内みゆる

特選

今井千鶴子 選

夕日まだ水にとどまる四葩かな 熊本県熊本市 伊津野善子

岩岡 中正 選

波といふ波金色に涅槃西風 熊本県合志市 坂田美代子

宇多喜代子 選

一個づつ千個の梅を干し返す 熊本県天草市 有江サヨリ

大岳水一路 選

蓮根振る長き列車の長き影 熊本県熊本市 右田 捷明

鍵和田柚子 選

大阿蘇の火山灰にすすけし蜜柑挽ぐ 神奈川県茅ヶ崎市 岡田 貞二

岸原 清行 選

天の川阿蘇カルデラへ送る 福岡県福岡市 今中 榮泉

倉田 紘文 選

をさな兒も数の内なる盆の客 愛知県岡崎市 柴田 清美

坪内 稔典 選

夫二つ私三つ寒苳 宮崎県高千穂町 伊藤まり子

俳句の部・ジュニア部門

「草枕」大賞

小学生の部

かぶとむしぼくよりすごいたべつぶり

熊本県東町小学校1年 松木 優都

中学生の部

螢火は自然がくれたランプかな

熊本県山江中学校2年 村坂崇莉奈

高校生の部

母の日や鏡台を拭くていねいに

長崎県立長崎工業高等学校3年 大道 愛美

留学生の部

秋が風を黄色く染めた

山梨大学大学院 曹 婷

日本航空賞

お父さんビールと一緒に帰宅する

熊本県荒尾第一小学校6年 藤原 鮎美

地下水都市・熊本賞

炎天下蛇口全開顔で飲む

熊本県熊本信愛女学院高等学校2年 竹田 知沙

俳句の部・外国語部門

「草枕」大賞 Kusamakura Taishou (Grand Prize)

between statues the rest of history

ジム カシアン
Jim Kacian
(アメリカ)

(訳)
彫像と彫像の間に見る歴史の残瀝

地下水都市・熊本賞 Chikasuitoshi Kumamoto Shou (Kumamoto 'City of artesian Waters' Haiku Award)

the endless sea
crouched between
two cypresses

ボゼナ ゼルネツチ
Bozena Zernec
(クロアチア)

(訳)
二本の糸杉の間に
果てしのない海が
身をかかめるように拮がっている

●● 特選 Tokusen (Second Prize)

◆ 西川 盛雄 選 Selected by Mr. Morio Nishikawa

summer night
crickets chirp while the
children's
playground takes a rest

(訳)
夏の夜は
蟋蟀が鳴いている
運動場がお休みの時

ステパン ロージッチ
Stjepan Rozic
(クロアチア)

at daybreak
pieces of wet moons
thaw on stones

(訳)
夜明けのひと時
滴の数だけの月が
石の上で溶けている

エディット マンチーニ
Edith Mancini
(アルゼンチン)

Whispering to her --
the spotted fawn
eyes the outstretched
water lily

(訳)
何かささやくように --
鹿の子まだらの鹿が
伸びてきた睡蓮に
じっと眼を向ける

デイビッド
David
マクマリー
McMurray
(日本・鹿児島県)

from an old photo album
smiling at me tenderly
the childhood

(訳)
懐かしのアルバムから
そっと私を見つめる
子どものころの私

ヴェラ
VERA
プリモラツ
PRIMORAC
(クロアチア)

◆ リチャード ギルバート 選 Selected by Dr. Richard Gilbert

how deer
materialize
twilight

(訳)
鹿が
薄明の中に
見え出してくる様

スコット メイソン
Scott Mason
(アメリカ)

like a blade
the night train roars by
war memories

(訳)
刃物のように
夜汽車が轟音をたててゆく
戦争の記憶に

リュボミール
Ljubomir
ドラゴヴィッチ
Dragovic
(ボスニア・ヘルツェゴビナ)

koi pond --
red leaf at the bottom
of the atmosphere

(訳)
鯉の池--
水底に見る
赤い木の葉の趣

マイケル
Michael
ニコルズ
Nickels-Wisdom
(アメリカ)

from an old photo album
smiling at me tenderly
the childhood

(訳)
懐かしのアルバムから
そっと私を見つめる
子どものころの私

ヴェラ
VERA
プリモラツ
PRIMORAC
(クロアチア)

当日投句部門

「草枕」大賞

ふとこころに水を蔵して山眠る 熊本県菊陽町 渡邊佳代子

●● 中村汀女賞

破れ芭蕉かぶせありけり子等の魚籠 熊本県熊本市 秋野 長利

●● 種田山頭火賞

枯葦を過ぐれば風の消へにけり 熊本県熊本市 伊津野善子

●● 地下水都市・熊本賞

花石路に明るき声の帰郷かな 熊本県熊本市 坂本あかり

●● スポーツライフくまもと賞

草紅葉山羊に日向の匂ひあり 熊本県熊本市 永野由美子

●● 特選

◆ 今井千鶴子 選

鴨万羽湖は雨とてくらからず 熊本県熊本市 丸山ゆきこ

◆ 大岳水一路 選

障子張る江津湖の四季に添ふ暮し 熊本県熊本市 高本よしえ

◆ 小川濤美子 選

源泉の真砂の鼓動水澄めり 熊本県熊本市 伊藤 広子

◆ 岸原 清行 選

荒縄の痕残りたる干大根 熊本県西原村 平山 友頌

◆ 倉田 紘文 選

虚空より雪舞ふ古今伝授の間 熊本県熊本市 中嶋 富忠

◆ 寺井 谷子 選

芭蕉林枯れもなかばや漱石忌 熊本県熊本市 光永 忠夫

◆ 岩岡 中正 選

水の中より水湧いて鴨の陣 熊本県熊本市 西村 孝子

◆ 井芹真一郎 選

風の来て絵より覚めたる紅葉かな 熊本県西原村 平山 結子

◆ 野田 遊三 選

白鷺の白こだわらず鴨の陣 熊本県熊本市 岡本 京子

◆ 星永 文夫 選

肘つきの紙の漱石にも秋思 熊本県熊本市 細田みのる

俳画部門

「草枕」大賞



帰省子の一日城に遊びけり(若宮瑞穂句)

熊本県熊本市 本田みつや

●● 地下水都市・熊本賞



配達ののぞいて行くや秋の水(夏目漱石句)

熊本県熊本市 小山 公

夏目漱石顕彰 熊本市制百二十周年記念 第14回 「草枕」 国際俳句大会

「草枕」の玉手箱 ―俳句と俳画入賞作品集― (平成21年)

俳句の部・一般部門

「草枕」大賞

大阿蘇の麓の村の子猫かな

大分県白杵市 野木 俊介

日本航空賞

虫を売る漢は別の闇にいて

東京都あきる野市 木下 蘇陽

くまもと売れる米づくり推進本部賞

遠くから雨が降り出す立葵

熊本県熊本市 荒牧 成子

福井市賞

アマゾンの日本村や鯉のぼり

ブラジル 工藤チーナ

地下水都市・熊本賞

声たてず笑ひ給へり生身魂

千葉県松戸市 福山 朋子

特選

今井千鶴子 選

脱ぎてはや絹のつめたき花衣

熊本県熊本市 上須崎ゆたか

岩岡 中正 選

一転機もたせし書を曝しけり

熊本県熊本市 杉村 凡哉

宇多喜代子 選

一握り土つけたして苗を売る

台湾 楊 海瑞

大岳水一路 選

豁然と空を割る日矢大花野

福岡県福岡市 大西 敏恵

鍵和田柚子 選

阿蘇といふ芒の国に入りけり

大分県宇佐市 松本 公節

岸原 清行 選

いくたびも沖見て海人の魂送る

東京都日野市 菅原 悟

倉田 紘文 選

水流すごと聞き流す生身魂

熊本県熊本市 松村 葉子

須藤 徹 選

眼まで空蟬となりおほせけり

熊本県熊本市 中路 哲郎

寺井 谷子 選

億年の星光ゲとどく蟻地獄

茨城県日立市 町井 寂石

坊城 俊樹 選

螺子ひとつ転がる廊下涼しかり

東京都西東京市 杉本とらを

俳句の部・ジュニア部門

「草枕」大賞

小学生の部

弟が夏のはじめに歩いたよ

熊本県泉ヶ丘小学校2年 中原 嘉乃

中学生の部

万緑の鎧をまとう天守閣

熊本県熊本大学教育学部附属中学校3年 尾池和希子

高校生の部

夏帽子押さえて走る待ち合わせ

静岡県磐田南高等学校1年 鈴木 里実

留学生の部

該当なし

日本航空賞

夏空にすいこまれていくホイッスル

熊本県帯山小学校6年 緒方 美奈

地下水都市・熊本賞

空蟬よきみは未来に何を見たのか

熊本県菊池南中学校3年 三宅 智也

俳句の部・外国語部門

「草枕」大賞 Kusamakura Taishou (Grand Prize)

gull--
the wind's way
with it

スコット メイソン
Scott Mason
(アメリカ)

(訳)
かもめが飛んで――
飛びゆくままに
風の道となる

地下水都市・熊本賞 Chikasuitoshi Kumamoto Shou (Kumamoto 'City of artesian Waters' Haiku Award)

estuary mouth
curlew calls
moon rise in sea smell

レズリー ギデンズ
Leslie Giddens
(イギリス)

(訳)
大河の河口域
海の香りいっぱいに一羽の鳴が
月の出を呼び起こす

●● 特選 Tokusen (Second Prize)

◆ 西川 盛雄 選 Selected by Mr. Morio Nishikawa

First snow covered
ruins of bombardment
but no remembrance

シルビジャ
Silvija
トロシエフスキー
Trpcevski
(セルビア)

(訳)
初雪に
被弾の廃墟は覆われても
覆われぬものはその記憶

grass trembling,
trembling under the sickle
of the moon

ビート コンラド
Beate Conrad
(アメリカ)

(訳)
牧草が震えている
三日月の鎌の下で
震えている

drowning
in his own reflection
a snowman

デジャン
Dejan
パヴリノビック
Pavlinovic
(クロアチア)

(訳)
雪だるまが融けて
自分の影の中で
溺れていく

brave firefly!
lighting the hands
of the catcher...

マニユアル アソレイ
Manuel Asorey
(アルゼンチン)

(訳)
勇敢なホタル!
捕獲者の手を
光らせて...

◆ リチャード ギルバート 選 Selected by Dr. Richard Gilbert

a sparrow in the rain
trying to find a kernel -
the poor one

イリナ ステファノビック
Irina Stefanovic
(セルビア)

(訳)
雨中の雀
穀粒を見つけようとして一
可哀そうな奴よ

inchworm...
hou long it took to return
to wonder

スコットメイソン
Scott Mason
(アメリカ)

(訳)
シャクトリムシ...
どれだけ時間をかけて
その不思議に戻るやら

at the spring
pilgrims
of water

ナディア
Nadia
ナイデノバ
Naidenova -
シルマ
Syрма
(ブルガリア)

(訳)
春の季節
水の
巡礼者たち

what powers stars
kinks the flight of a bee
scouring clover

ウィリアム ハート
William Hart
(アメリカ)

(訳)
どんな力ある星が
ミツバチの飛行を
纏れさせるのか
クローバーを光らせて

当日投句部門

- 特選
- ◆ 今井千鶴子 選
山幾重うすむらさきに神の旅
熊本県合志市 大坪 落子
 - ◆ 大岳水一路 選
湖に添ふ暮しゆたかに冬菜畑
熊本県熊本市 利光 釈郎
 - ◆ 小川濤美子 選
己が影曳いて流れ藻水澄めり
熊本県熊本市 渡辺久美子
 - ◆ 岸原 清行 選
あなたがたどこさひごさや小春空
福岡県北九州市 池田 浩子
 - ◆ 須藤 徹 選
この星に大字小字水澄めり
熊本県熊本市 水田 絹子
 - ◆ 坊城 俊樹 選
芒原分け入つてみる牛がいる
熊本県山都町 高宗 法
 - ◆ 岩岡 中正 選
冬瓜も丸刈りの頭も撫でてやる
熊本県熊本市 永野由美子
 - ◆ 井芹眞一郎 選
風が吹き残したる種採りにけり
熊本県熊本市 山本 淑子
 - ◆ 近藤ひかる 選
浮寝鳴人を信じる近さあり
熊本県熊本市 丸山ゆきこ
 - ◆ 野田 遊三 選
物忘れ延長線に桐の花
熊本県熊本市 北野 昭夫
 - ◆ 星永 文夫 選
秋風や写楽の顎の少しのび
熊本県熊本市 西 美愛子

俳画部門

「草枕」大賞



往年のスターを偲ぶ麦の秋
熊本県熊本市 勝木 睿子

「草枕」大賞



ふところに水を蔵して山眠る
(渡邊佳代子句)
熊本県熊本市 小林 礼子

夏目漱石顕彰 第15回 「草枕」 国際俳句大会

「草枕」の玉手箱 ―俳句と俳画入賞作品集― (平成22年)

俳句の部・一般部門

「草枕」大賞

膝ついて草取る翁爆心地

広島県広島市 重西あつ子

日本航空賞

恐竜も昆虫もゐるて夏休

神奈川県鎌倉市 白井 晟也

くまもと売れる米づくり推進本部賞

熊本県熊本市 水田 絹子

福井市賞

一本を活けて家中芒原

宮崎県小林市 永田タエ子

地下水都市・熊本賞

阿蘇牛の磨き込まれし十三夜

三重県四日市市 横山 茂子

特選

今井千鶴子 選

夜は星と囁く高さ今年竹

熊本県熊本市 水野つとむ

岩岡 中正 選

花火師に喝采のごと星ありぬ

愛知県岡崎市 水野 幸子

宇多喜代子 選

阿蘇牛の黒たくましき大夕焼

三重県四日市市 横山 茂子

大岳水一路 選

萬緑を映す湖底に村沈み

熊本県熊本市 秋吉 昭二

鍵和田柚子 選

天草やいくたび過ぎし野分雲

埼玉県さいたま市 関根 瞬泡

岸原 清行 選

屠所に出す牛に暫しの花野かな

ブラジル 菅原 岩山

倉田 紘文 選

大阿蘇へスイッチバック青嵐

大分県杵築市 栗原 弘治

須藤 徹 選

闇を追ひ闇に追はるる螢狩

広島県広島市 重西あつ子

◆ 寺井 谷子 選

阿蘇の月月の阿蘇にとりて来し

高知県高知市 高野 基都

◆ 坊城 俊樹 選

かなかなや限界集落の夜明

福島県西郷村 黒澤 正行

俳句の部・ジュニア部門

「草枕」大賞

小学生の部

あさがおのいろみずでえをかきました

愛知県鶴城小学校1年 横山 翔人

中学生の部

万緑の帽子で熊本守る阿蘇

熊本県飽田中学校2年 石川 翔

高校生の部

盆の川「またね」と祖母を送りけり

熊本県信愛女学院高等学校3年 伊藤 聖香

留学生の部

自転車で行く夏道

東京都東京女子大学3年 李 惠真

日本航空賞

足元を真っ白にして桜散る

長崎県長崎工業高等学校3年 浅山 達郎

地下水都市・熊本賞

澄む水をすくえばゆれる天守閣

愛媛県桑原中学校1年 泉市 梨代

俳句の部・外国語部門

● 「草枕」大賞 Kusamakura Taishou (Grand Prize)

Two light beams shining
where there were once
Twin Towers—
my son, my daughter

ジャックガルミッツ
Jack Galmitz
(アメリカ)

(訳)

二本のビーム光線の輝き
ここはツイン・タワーのあった処—
わが息子よ、わが娘よ

● 地下水都市・熊本賞 Chikasuitoshi Kumamoto Shou (Kumamoto 'City of artesian Waters' Haiku Award)

The paper lanterns
Float along the river course
Till the spirits drift.

レオニー サントソ
Leony Santoso
(インドネシア)

(訳)

紙灯籠が
川路に沿って浮流する
精霊となって

夏目漱石顕彰 第16回 「草枕」 国際俳句大会 ねんりんピック2011熊本 俳句交流大会

「草枕」の玉手箱 ―俳句と俳画入賞作品集― (平成23年)

俳句の部 高齢者部門・一般部門

● 高齢者部門・「草枕」大賞

受話器よりかなかなの声妻の声 熊本県熊本市 子狐 萬浪

● 一般部門・「草枕」大賞

地球より大筒を振りあげる 神奈川県川崎市 和泉 雅江

● くまもと売れる米づくり推進本部賞

好きといふことば丸めて雪礫 三重県鈴鹿市 古川 和子

● 福井市賞

鎮魂のトランペットや海五月 熊本県玉名市 松瀬むつ江

● 松山市賞

雲の峰大き角もて立ちにけり 茨城県結城市 北島 清子

● 日本航空賞

被災地に卒業歌流れ山泣けり 鹿児島県姶良市 東郷 義弘

● 地下水都市・熊本賞

大阿蘇に一礼をして卒業す 大分県大分市 野田 敦美

● 特選

● 稲畑廣太郎 選

夕闇の撫でて善管を濃くしたる 福岡県大牟田市 鹿子生憲二

● 稲畑 汀子 選

海を見る一人一人が夕焼けて 神奈川県横浜市 印南 房吉

● 岩岡 中正 選

春寒や主亡くせしランドセル 熊本県熊本市 久保 武雄

● 小川瀧美子 選

ふらこの順を待つ子の眼も漕げる 広島県福山市 横川美重子

● 鍵和田柚子 選

大阿蘇の禱りの野火でありにけり 熊本県阿蘇市 井澤 俊子

● 倉橋 羊村 選

藍ゆかた母を受け継ぐ富士額 熊本県八代市 貝田ひでを

● 田中 不鳴 選

父の背を流すが如く墓洗い 北海道札幌市 植田 尚宏

● 棚山 波朗 選

牧水の越へし峠や榛の花 埼玉県さいたま市 川辺 時子

● 辻 桃子 選

二羽乗れば沈みさうなる浮巢かな 熊本県熊本市 増田いと子

● 寺井 谷子 選

天文台浮かべみどりの日のみどり 岡山県倉敷市 重政 三潮

俳句の部 ジュニア部門

● 「草枕」大賞

● 小学生の部

ふん水に胸上げされてみたいな 福井県鳥羽小学校5年 三ツ山涼雅

● 中学生の部

生きていく！三陸の春強く思ふ 熊本県西原中学校2年 梅田 歩澄

● 高校生の部

紫陽花やクラリネットの丸い音 茨城県下館第一高等学校1年 野寺 千歩

● 留学生の部

沈黙でどんぐり落ちた森の音 兵庫県神戸市外国語大学 ダマン ポッセ

● 日航財団賞

風鈴に一直線に山の風 長崎県諫早農業高等学校1年 古川 真耶

● 地下水都市・熊本賞

ふん水が熊本城をかたむける 愛媛県愛媛大学教育学部附属中学校2年 清水 媛香

俳句の部・外国語部門

● 「草枕」大賞 Kusamakura Taishou (Grand Prize)

no-go zone
the twinkle of stars
in the Ukedo River

ジョージ スウィード
George Swede
(カナダ)

(訳)
ここからは立入禁止
請戸川に
星がまたたいて

● 地下水都市・熊本賞 Chikasuitoshi Kumamoto Shou (Kumamoto 'City of artesian Waters' Haiku Award)

ear shaped shell
a small child holds out
to the sea

ジョン パーソンズ
John Parsons
(イギリス)

(訳)
耳形の貝殻を
子どもが差し出す
海に向かって

●● 特選 Tokusen (Second Prize)

◆ 西川 盛雄 選 Selected by Mr. Morio Nishikawa

Dawn raising ax... echo up the valley
 (イタリア)
 (訳) 夜明け 振り上げた斧の音— 溪谷に響き渡って

Her far away look
 Tire swing on a nearby tree
 The missing Children
 (アメリカ)
 (訳) 遠くを見つめる彼女の眼差し 近くの木には タイヤのブランコ 子どもたちがいなくなって

I fiori di colze e i quartieri sinistrati continuano la strada.
 (イタリア)
 (訳) 菜の花や被災区域へ 続く道

moonrise burying the embers
 (アメリカ)
 (訳) 月の出に 夕焼けの残り火が 消えて行く

◆ リチャード ギルバート 選 Selected by Dr. Richard Gilbert

all alone with his smile stone buddha in the nuclear zone
 (オーストラリア)
 (訳) ぼつねんと 微笑んで佇つ 石仏の 放射能ゾーン

incoming tide... their tears join mine
 (アメリカ)
 (訳) 押し寄せて来る潮— 彼の人々の涙が 私の涙となって

tsunami dreams-grass pillows for the homeless on Bashō's Narrow Road
 (オーストラリア)
 (訳) 津波の夢— 宿無き者の草枕 芭蕉の「奥の細道」に よせて

Thunderstorm. In the streams opened eyes.
 (ドイツ)
 (訳) 激しい雷雨 川の流れのさ中 目を見開いて

当日投句部門

「草枕」大賞

一水のふくらみ鴨の声放つ

熊本県熊本市 中嶋 富恵

中村汀女賞

阿蘇谷に蕎麦花ざかり日は西に

熊本県大津町 坂本 セキ

種田山頭火賞

火の国に嫁ぎお城の落葉掃く

熊本県熊本市 西 美愛子

スポーツライフくまもと賞

団乗に分けて貰ひし山日和

熊本県熊本市 水野つとむ

日本航空賞

石といふ石の露けさ城巡る

熊本県熊本市 つのだともこ

地下水都市・熊本賞

本当の秋風に会ふ天守閣

熊本県熊本市 山澄 陽子

●● 特選

◆ 安西 篤 選

礎の堅きお城や菊枕

熊本県熊本市 矢澤 幸乃

◆ 稲岡 長 選

母許の離れがたしや彼岸花

熊本県宇土市 坂本 節子

大久保白村 選

秋の城飛行機雲が切りかかる

熊本県熊本市 秋吉 柳水

小川濤美子 選

年輪を育む大地秋麗

熊本県西原村 吉岡 七郎

棚山 波朗 選

湖に日の射すところ鴨の陣

熊本県菊池市 日野 智子

豊田 都峰 選

銃眼にはり付き蟻螂ひた枯るる

熊本県菊池町 佐藤 澄世

山崎 聰 選

火の山の火が飛びどうだん紅葉かな

熊本県熊本市 佐本あい子

山本 洋子 選

抱く嬰と仰け反つて見る赤とんぼ

熊本県熊本市 伊藤 広子

岩岡 中正 選

爽やかや古今伝授の物語

熊本県熊本市 水田 絹子

井芹眞一郎 選

鴨来る湖心しづかに明け渡す

熊本県熊本市 伊藤 広子

近藤ひかる 選

翡翠の一閃湖の水を蹴る

熊本県熊本市 富永 節子

野田 遊三 選

芭蕉破れ十方浄土への戸片

熊本県熊本市 堀 伸子

◆ 星永 文夫 選

破芭蕉十一本目までは数へけり

熊本県熊本市 西村 孝子

俳画部門

「草枕」大賞



湖に佇み冬を見てるたり

(伊津野喜子句)
 熊本県熊本市 伊津野 順子

●● 地下水都市・熊本賞



どんたくや地球団勝てばなほ

福岡県福岡市 鶴内 恵